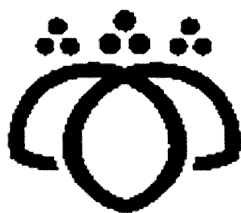


2024年度

---

総合歯科医学5  
授業計画表

【シラバス】



鶴見大学歯学部

# 総合歯科医学5

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第5学年	必修	前・後期	7単位

## 一般目標

第1学年から第4学年までに学習してきた知識の整理と固定化を図るとともに、臨床実習で得られた知識と経験とを有機的に統合することで歯科医師として求められる問題解決能力を習得する。

【DP/CP】 DP3・5/CP2・4

## 評価方法

ユニット終了時に総合歯科医学5試験を行う。

ユニットA・・・1次試験、ユニットB・・・2次試験、ユニットC・・・3次試験

## 評価基準

1次試験と2次試験の成績について原則として総合得点の高得点を採用し、3次試験との平均をもって総合成績として合格基準により判定を行う。

合格基準：総合得点の平均72.00点以上

## も く じ

ページ	ページ
解剖学 . . . . . 1	全部床義歯補綴学 . . . . . 18
生理学 . . . . . 2	部分床義歯補綴学 . . . . . 21
分子生化学 . . . . . 4	クラウンブリッジ補綴学 . . . . . 22
病理学 . . . . . 6	口腔顎顔面外科学 . . . . . 24
口腔微生物学 . . . . . 7	口腔内科学 . . . . . 25
薬理学 . . . . . 8	歯科矯正学 . . . . . 26
歯科理工学 . . . . . 9	小児歯科学 . . . . . 27
口腔衛生学 . . . . . 11	口腔顎顔面放射線画像診断学 . . . . . 28
保存修復学 . . . . . 14	歯科麻酔学 . . . . . 29
歯内療法学 . . . . . 15	高齢者歯科学 . . . . . 30
歯周病学 . . . . . 16	インプラント . . . . . 31
	法医歯学 . . . . . 32

## 総合歯科医学5 (解剖学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
解剖-1	石川美佐緒	1. 人体の正常構造・機能	1 A. 歯と歯周組織の発生、構造および機能	1 A a. 歯と歯周組織の発生	1 A a ①歯胚の形成とその形態分化および組織分化の過程を説明できる。	講義の理解を図るため、これまでの授業プリントを読み予習しておくこと。授業後は授業で使用したプリントを中心に復習すること。 C-3-2) ①、E-2-2) ①、E-2-3) ①、E-3-1) ④
解剖-2	石川美佐緒	1. 人体の正常構造・機能	1 A. 歯と歯周組織の発生、構造および機能	1 A b. 歯と歯周組織の微細構造	1 A b ①歯と歯周組織を構成する組織の微細構造・機能を説明できる。	講義の理解を図るため、これまでの授業プリントを読み予習しておくこと。授業後は授業で使用したプリントを中心に復習すること。 E-2-2) ①②、E-3-1) ④⑤⑥
解剖-3	原矢委子	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Ba. 人体を構成する組織と器官	1Ba①上皮組織の構造を説明できる。 1Ba②支持組織の構造を説明できる。 1Ba③筋組織の構造を説明できる。 1Ba④神経組織の構造を説明できる。	講義時の配布プリントおよび参考書を復習しておくこと。 C-3-4)-(1)、C-3-4)-(2)、C-3-4)-(3)、C-3-4)-(5)
解剖-4	原矢委子	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bb. 頭頸部の脈管系	1Ba①頭頸部の動脈系を説明する。 1Bb②頭頸部の静脈系を説明する。 1Bb③頭頸部のリンパ系を説明する	講義時の配布プリントおよび参考書を復習しておくこと。 E-2-1)-④
解剖-5	塩崎一成	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bc. 頭頸部の骨格系	1 B c ①頭頸部の骨の構造・機能を説明できる。	口腔解剖学の教科書の該当ページをよく読み予習しておくこと。授業後は授業で使用した教科書、ノート、プリントを復習しておくこと。 C-3-1) ①、C-3-4)-(2) ①~④、E-2-1) ②⑤⑥、
解剖-6	塩崎一成	1. 人体の正常構造・機能	1 A. 歯と歯周組織の発生、構造および機能	1 A c. 歯と歯周組織 1 A d. 乳歯と永久歯	1 A c ①歯および歯周組織の構造と機能について説明できる。 1 A d ①歯種別の形態と特徴について説明できる。	歯の解剖学の教科書の該当ページをよく読み予習しておくこと。授業後は授業で使用した教科書、ノート、プリントを復習しておくこと。 C-3-1) ①、E-3-1) ①~④
解剖-7	黒田範行	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bd. 細胞の構造 1Be. 細胞の機能	1Bd①細胞の構造を説明する 1Be-①細胞の機能・増殖・分化について説明する 1Be-②遺伝子の構造・機能ならびに遺伝の基本的メカニズムを説明する	組織学の時のプリントや教科書などを見直しておくこと。 C-2-3)-①、C-2-4)-①、C-3-4)-(1)-①~③
解剖-8	黒田範行	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bf. 咀嚼筋 1Bg. 三叉神経	1Bf①4つの咀嚼筋の起始停止、神経支配を説明する。 1Bg②下顎神経の構成と走行を説明する。	頭頸部解剖学の時のプリントや教科書などを見直しておくこと。 E-2-1)③⑦
解剖-9	浅田由佳	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bh. 器官系 1Bi. 口腔内蔵	1Bh①器官系の基礎知識を説明できる。 1Bi①口腔内蔵について説明できる。	口腔解剖学の教科書やこれまでの授業プリントをよく読み予習しておくこと。また、授業後は授業の理解を図るために必ず復習すること。 C-3-4)、E-2-2) ①~③⑦
解剖-10	浅田由佳	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bj. 頭頸部の筋系	1Bj①頭頸部の筋の起始停止・作用・神経支配について説明できる。	口腔解剖学の教科書やこれまでの授業プリントをよく読み予習しておくこと。また、授業後は授業の理解を図るために必ず復習すること。 C-3-4)-(3) ①~③、E-2-1) ③⑤
解剖-11	原矢委子	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bk. 12対の脳神経	1Bk①12対の脳神経の構成と走行を説明する。	講義時の配布プリントおよび参考書を復習しておくこと。C-3-4)-(5)-④
解剖-12	黒田範行	1. 人体の正常構造・機能	1 B. 人体の構造	1Bl. 内分泌器官	1Bl①甲状腺の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する 1Bl②上皮小体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する 1Bl③副腎の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する 1Bl④脳下垂体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する 松果体の発生・構造と機能および産生ホルモンを説明する ランゲルハンス島の構造と機能および産生ホルモンを説明する	組織学の教科書、講義プリントを再読しておくこと C-3-4)-(9)-①②

指導教員: 塩崎一成、黒田範行、石川美佐緒、原矢委子、浅田由佳

参考書: 「口腔組織・発生学 第2版」 脇田 稔 ほか 編著 医歯薬出版 (2019)  
「歯の解剖学 第22版」 藤田 恒太郎 原著 金原出版 (1995)  
「人体解剖学 改訂第42版」 藤田恒太郎 著 南江出版 (2017)  
「口腔解剖学 第2版」 監修: 脇田稔、井出吉信 医歯薬出版 (2019)  
「口腔顎顔面解剖学ノート 第1版」 井出吉信ほか 編著 学建書院 (2019)

備考:

# 総合歯科医学 5 (生理学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理-1	本谷安正	1. 神経生理学	1A. 細胞 1B. 神経 1C. 感覚	1Aa. 細胞の機能 1Ba. 神経などの興奮性組織 1Bb. 神経の分類と機能 1Ca. 感覚の分類と機能 1Cb. 生理的中枢全般	1A①細胞膜、細胞小器官について説明する。 1B①神経の種類と機能を説明する。 1B②伝達物質・受容体について説明する。 1B③自律神経の機能について説明する。 1C①感覚の種類と役割について説明する。 1C②機能的中枢の部位と役割について説明する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の該当項目を事前に熟読しておくこと。 スタディー生理学の該当ページ: p2-16, p93-121  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べる。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-2-3)-①②、C-3-4-(3)-①~③、C-3-4-(5)-①~⑨、C-3-4)-(6)-①~④
生理-2	大貫芳樹	2. 循環生理学 3. 呼吸生理学	2A. 循環器系 3A. 呼吸器系 4A. 腎臓	2Aa. 循環器系 2Ab. 血圧 2Ac. 心電図 2Ad. 浮腫 3Aa. 呼吸器 3Ab. 呼吸調節 3Ac. 呼吸の異常 4Aa. 腎臓の機能	2A①心臓の機能について説明する。 2A②血圧およびその調節について説明する。 2A③心電図を説明する。 3A①呼吸の調節機構について説明する。 3A②呼吸の異常パターンについて説明する。 4A①腎臓の構造と機能を説明する。 4A②浮腫と脱水の機序について説明する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の該当項目を事前に熟読しておくこと。 スタディー生理学の該当ページ: p17-56, p85-92  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べる。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4)-(8)-①②、 C-3-4)-(10)-①~③
生理-3	奥村 敏	4. 血液生理学 5. 内分泌	4A. 体液と血液 5A. ホルモン	4Aa. 体液・血液の組成 4Ab. 血液成分 4Ac. 血液凝固 5Aa. 視床下部一下垂体系 5Ab. ホルモンの生理機能	4A①体液・血液の組成を説明できる。 4A②血液成分の種類、役割を説明する。 4A③血液凝固と線溶のメカニズムを説明する。 5A①ホルモンの種類、生理作用を説明する。 5A②ホルモンの分泌様式を説明する。 5A③ホルモンの階層性を説明する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の該当項目を事前に熟読しておくこと。 スタディー生理学の該当ページ: p17-32, p69-84  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べる。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-3-4)-(4)-④~⑦、C-3-4)-(9)-①~④、 C-3-4)-(10)-①~③
生理-4	吹田憲治	6. 口腔生理学	6A. 口腔機能全般 6B. 消化と吸収	6Aa. 口腔感覚 6Ab. 下顎運動 6Ac. 咀嚼と嚥下 6Ad. 唾液 6Ae. 発声と構音 6Ba. 消化管の構造と機能	6A①口腔感覚の特徴を説明する。 6A②下顎運動の特徴を説明する。 6A③咀嚼運動と神経機構について説明する。 6A④唾液の成分、分泌調節、および神経支配について説明する。 6A⑤発声・構音に関わる器官を説明する。 6B①消化管の機能について説明する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の該当項目を事前に熟読しておくこと。 スタディー生理学の該当ページ: p57-68, p134-183  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べる。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-3-4)-(7)-①~③、E-2-1)⑦~⑨、E-2-2)-③、⑤⑥、⑧~⑩、F-2-2)-⑨⑩
生理-5	本谷安正	7. 加齢の生理学	7A. 加齢	7Aa. 加齢による口腔・顔面の変化 7Ab. 加齢による全身の変化	①加齢による口腔機能(歯・顎骨・味覚・唾液腺・唾液分泌など)の生理的变化を説明する。 ②加齢による全身性の生理的变化を説明する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の該当項目を事前に熟読しておくこと。 スタディー生理学の該当ページ: p122-131, p184-189  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べる。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-3-3)-①~③、E-5-1)-①

生理-6	大貫芳樹	8. 総まとめ	8A. 神経・感覚・内分泌の生理学 8B. 循環・呼吸の生理学 8C. 口腔の生理学	8Aa. 神経生理学 8Ab. 感覚生理学 8Ac. 内分泌 8Ba. 循環生理学 8Bb. 呼吸生理学 8Ca. 口腔生理学	8A①ユニットAおよびBで行った神経・感覚生理学と内分泌について総復習する。 8B①ユニットAおよびBで行った循環・呼吸生理学について総復習する。 8C①ユニットAおよびBで行った口腔生理学について総復習する。	基礎歯科生理学およびスタディ生理学の全範囲が該当となる。  また講義プリントの復習を行い、疑問点は各自調べること。その上でわからない点は教員に質問に行くこと。 <コア・カリ番号> C-2-3)-①②、C-3-3)-①~③ C-3-4-(3)-①~③、C-3-4)-(4)-①~⑦、C-3-4-(5)-①~⑨、C-3-4)-(6)-①~④。 C-3-4)-(7)-①~③、C-3-4)-(8)-①②、C-3-4)-(9)-①~④、C-3-4)-(10)-①~③、E-2-1)⑦~⑨、E-2-2)-③、⑤⑥、⑧~⑩、E-5-2)-①、F-2-2)-⑨⑩
------	------	---------	--	--	---	--

コーディネータあるいは責任教員:

指導教員: 奥村 敏、大貫芳樹、本谷安正、吹田憲治

参考書: ①スタディー生理学・口腔生理学 第3版 奥村 敏監修 塩澤光一著 永末書店  
②基礎歯科生理学 第7版 岩田幸一、井上富雄、船橋誠、加藤隆史 医歯薬出版

備考: ①「スタディー生理学・口腔生理学」の該当ページを予習、受講後は復習と練習問題を繰返し行う。  
②理解不十分の箇所は「基礎歯科生理学」を参考にして理解に努める。

# 総合歯科医学5 (分子生化学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化-1	山本竜司	1 生体成分 2 代謝	1A タンパク質 1B 糖質 1C 脂質 2A 代謝概要 2B 糖質代謝 2C 脂質代謝 2D アミノ酸代謝	1Aa アミノ酸 1Ab ペプチドとタンパク質 1Ba 単糖、オリゴ糖、多糖 1Bb 単糖誘導体 1Ca 脂肪酸 1Cb 中性脂肪 1Cc リン脂質 1Cd コレステロール 2Aa 異化と同化 2Ab 酵素 2Ba 糖質の消化・吸収 2Bb 糖質のエネルギー産生 2Bc グルコース産生 2Ca 脂質の消化・吸収 2Cb 脂質の運搬 2Cc 脂質のエネルギー産生 2Cd ケトン体生成 2Da タンパク質の消化・吸収 2Db アミノ酸の利用	1Aa① アミノ酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Ab① ペプチドとタンパク質の構造と機能を説明する。 1Ba① 単糖、オリゴ糖、多糖の種類と構造の特徴を説明する。 1Bb① 糖アルコール、ヘキソサミン、ウロン酸を説明する。 1Ca①脂肪酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Cb①中性脂肪の構造と機能を説明する。 1Cc① リン脂質の構造と機能の特徴を説明する。 1Cc②細胞膜の構造を説明する。 1Cd①コレステロールの構造と誘導物質を説明する。 2Aa①異化と同化を説明する。 2Aa②ATPの構造とエネルギー通貨を説明する。 2Ab① 酵素の種類と性質を説明する。 2Ba① 糖質の消化・吸収機構を説明する。 2Bb① 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化を説明する。 2Bc① 糖新生を説明する。 2Ca① 脂質の消化・吸収機構を説明する。 2Cb①脂質の運搬を説明する。 2Cc① β酸化を説明する。 2Cd① ケトン体の種類と生成機構を説明する。 2Da① タンパク質の消化・吸収機構を説明する。 2Db① アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応を説明する。 2Db② 糖原性およびケトン性アミノ酸を説明する。 2Db③ 尿素回路を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4ア a, c, e, f, 総11才 a, b, 総11才 a, b, 総11才 a, b, 総11才 a, b コアカリ：C-2-1)-①～⑤
生化-2	山本竜司	3ヌクレオチド 4タンパク質合成	3A 核酸の構造 3Bヌクレオチド代謝 4A セントラルドグマ	3Aa DNAとRNA 3Ab 染色体 3Baヌクレオチド関連物質 3Bbヌクレオチドの異化 4Aa DNAの複製 4Ab PCR検査 4Ac 転写 4Ad 翻訳 4Ae 修飾と分解	3Aa①ヌクレオチドの構成成分を説明する。 3Aa②DNAとRNAの構造を説明する。 3Ab①染色体の構造を説明する。 3Ab②細胞分裂を説明する。 3Ba①ATP, ビタミンB2, B3, B5の構造を説明する。 3Bb①ヌクレオチド構成塩基の異化代謝を説明する。 4Aa①DNAの複製機構を説明する。 4Ab①PCR検査の原理を説明する。 4Ac①転写の機構を説明する。 4Ac②スプライシングの機構を説明する。 4Ad①翻訳の機構を説明する。 4Ae①タンパク質の修飾について説明する。 4Ae②タンパク質の分解について説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4ア a～c, 総11 コアカリ：C-2-1)-④, C-2-2)-①～⑤
生化-3	山本竜司	5結合組織 6歯と歯周組織の構造	5A 結合組織の成分 5B 硬組織の有機成分 5C 硬組織の無機成分 5D 歯と歯周組織の石灰化機構	5Aa コラーゲン 5Ab グリコサミノグリカン 5Ac プロテオグリカン 5Ad 細胞接着タンパク質 5Aa 非コラーゲン性タンパク(NCPI) 5Ba ヒドロキシアパタイト 5Ca 基質小胞性石灰化 5Cb エナメル芽細胞性石灰化	5Aa①コラーゲンの生合成を説明する。 5Aa②コラーゲンファミリーを説明する。 5Ab①グリコサミノグリカンの種類と構造を説明する。 5Ac①プロテオグリカンの種類と分布を説明する。 5Ad①細胞接着タンパク質の構造と種類を説明する。 5Aa①骨のNCPIの種類と特徴を説明する。 5Aa②象牙質のNCPIの種類と特徴を説明する。 5Aa③エナメルタンパクの種類と特徴を説明する。 5Ba①ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明する。 5Ca①基質小胞性石灰化機構を説明する。 5Cb①エナメル芽細胞性石灰化機構を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4ア d, e, 総115イ a, b, 総119イ b, 総118ウ b, c コアカリ：C-2-1)-①, ②, C-2-2)-③, ④, C-2-3)-①, C-2-4)-①, ③, C-3-4)-②, ②, ⑤, C-5-1)-①, E-3-1)-①, ③, ④
生化-4	山本竜司	7骨代謝 8血清Caの恒常性	7A 軟骨形成 7B 骨形成 7C 骨吸収 7D 骨のリモデリング 8A Ca調節ホルモン 8B 副甲状腺ホルモン 8Bb 活性型ビタミンD 8Bc 標的器官	7Aa 軟骨細胞 7Ba 骨芽細胞 7Ca 破骨細胞 7Da 破骨細胞分化 8Aa 血清Caの調節 8Ba 副甲状腺ホルモン 8Bb 活性型ビタミンD 8Bc カルシトニン	7Aa①軟骨細胞の分化調節を説明する。 7Ba①骨芽細胞の分化調節を説明する。 7Ba②骨細胞の特徴を説明する。 7Ca①破骨細胞の特徴を説明する。 7Da①M-CSF系分化を説明する。 7Da②RANK-RANKL系分化を説明する。 8Aa①Caの働きを説明する。 8Aa②血清Caの恒常性に関わる臓器、ホルモンを説明する。 8Ba①副甲状腺ホルモンの構造と作用を説明する。 8Bb①活性型ビタミンDの合成機序と作用を説明する。 8Bc①カルシトニンの構造と作用を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4ア e, 総118ウ a～c コアカリ：C-2-4)-⑤, C-3-4)-②, ②～⑤, C-5-1)-①
生化-5	山本竜司	9口腔環境 10口腔内付着物	9A 唾液の有機成分 9B 唾液の無機成分 10A ベリクル 10B プラーク 10C プラーク内の酸産生	9Aa 唾液のタンパク質 9Ab 唾液の酵素 9Ba 唾液の無機成分 10Aa ベリクルの組成 10Ba プラーク形成 10Bb 菌体外多糖 10Cb 菌肉縁下プラーク	9Aa①唾液タンパク質の種類と性質を説明する。 9Ab①唾液酵素の種類と性質を説明する。 9Ba①唾液無機成分の種類と性質を説明する。 10Aa①ベリクルの成分と役割を説明する。 10Ba①プラークの形成機序を説明する。 10Bb①菌体外多糖の生成機序を説明する。 10Bb②グルカンの構造を説明する。 10Bb③フルクタンの構造を説明する。 10Ca①菌肉縁上プラークの酸産生機序を説明する。 10Ca②ステファンカーブを説明する。 10Cb①菌肉縁下プラークの酸産生機序を説明する。 10Cb②口臭原因物質の種類と産生機序を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4ア e, f, 必4イ c, 総112イ a, b, 総116カ コアカリ：C-2-1)-①, ②, ④, C-4-2)-⑦, E-2-2)-⑤, E-3-2)-④

<p>生化-6</p>	<p>山本竜司</p>	<p>11 炎症と免疫 12 血液生化学検査</p>	<p>11A 自然免疫と獲得免疫 11B ケミカルメディエーター 12A 生化学検査と代謝 12B 遺伝子検査</p>	<p>11Aa 免疫担当細胞 11Ba アミン 11Bb キニン 11Bc アラキドン酸由来エイコサノイド 12Aa 血糖 12Ab 糖化ヘモグロビン 12Ac ブドウ糖負荷試験 12Ad リポタンパク質 12Ae 中性脂肪 12Af コレステロール 12Ag 総タンパク 12Ah 尿素窒素 12Ai クレアチニン 12Aj クレアチニクリアランス 12Ak 尿酸 12Al ビリルビン 12Am 逸脱酵素、誘導酵素 12An アイソザイム 12Ao カルシウム 12Ap 無機リン 12Aq 鉄 12Ba サザンプロット 12Bb ノザンプロット 12Bc PCR 12Bd in situハイブリダイゼーション</p>	<p>11Aa① 免疫担当細胞の種類と役割を説明する。 11Ba① アミンの種類と生成機序を説明する。 11Ba② 血管透過性の機序を説明する。 11Bb① キニンの種類と生成機序を説明する。 11Bb② 白血球遊走作用の機序を説明する。 11Bc① アラキドン酸カスケードを説明する。 12① 各種検査項目の基準値より代謝異常を理解する。 12Am① 臨床酵素の意義とアイソザイムを理解する。 12B① 各種遺伝子検査のメカニズムと意義を理解する。</p>	<p>配布した資料を確認し、分からない箇所を2、3年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アg、必6アd、必9エc、総II3エa、b、総III1カa、総VI3アc コアカリ：C-2-1)-①~③、C-4-2)-①~③、C-5-5)-①、②、E-1-3) ①②④⑤</p>
-------------	-------------	--------------------------------	---	--	---	--

コーディネータあるいは責任教員：

指導教員： 山越康雄、山本竜司

参考書： ベーシック生化学 畑山巧 編著 化学同人 ISBN:9784759811766 ¥4,620

口腔生化学 第6版 早川太郎・須田立雄 監修 医歯薬出版 ISBN:978-4263458228 ¥10,450

備考：

# 総合歯科医学5 (病理学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理-1	松本直行	病理学総論1	1 病因・病態 2 進行性病変・退行性病変 3 循環障害 4 貧血 5 出血性素因	1A 萎縮 1B 変性 1C アポトーシス 1D 壊死 2A 肥大 2B 過形成 2C 化生 2D 再生 3A 虚血 3B 充血 3C うっ血 3D 出血 3E 血栓 3F 塞栓 3G 梗塞 3H 浮腫 4A 貧血 5A 出血性素因	1①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 1②変性と関連疾患の病態を説明できる。 1③疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 1④萎縮と仮性肥大を説明できる。 2①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 2②肥大と過形成を説明できる。 2③化生を説明できる。 2④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 2⑤器質化を説明できる。 3①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 3②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 3③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 3④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 3⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 4①貧血を説明できる。 5①出血性素因を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-1)①② C-5-2)①~④ C-5-3)①~⑤ C-5-4)①~⑥ C-5-7)① E-2-4)-(2)① E-2-4)-(10)①③⑧⑨ E-6① F-1-1)⑦
病理-2	松本直行	病理学総論2 腫瘍1	1 炎症 2 病理検査 3 腫瘍総論	1A 炎症 2A 病理検査と染色方法 3A 腫瘍の定義と分類 3B 腫瘍の発生様式と進展様式	1①炎症の定義と機序を説明できる。 1②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 1③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。 1④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。 2①主な病理検査と染色方法を説明できる。 3①腫瘍の定義、病因を説明できる。 3②腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 3③良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 3④腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-1-3)①②④ E-2-4)-(3)② E-2-4)-(4)① E-2-4)-(6)①~③ E-2-4)-(10)③⑩ E-6① F-1-1)⑦
病理-3	松本直行	腫瘍2	1 歯原性腫瘍 2 唾液腺腫瘍	1A 歯原性腫瘍の分類 1B 良性上皮性歯原性腫瘍 1C 良性上皮間葉混合性歯原性腫瘍 1D 良性間葉性歯原性腫瘍 1E 悪性歯原性腫瘍 2A 唾液腺良性腫瘍 2B 唾液腺悪性腫瘍	1①歯原性腫瘍の発生を説明できる。 1②歯原性腫瘍を分類できる。 1③歯原性上皮から発生する腫瘍を列挙できる。 1④歯原性腫瘍の特微的な組織像を説明できる。 2①唾液腺腫瘍の発生を説明できる。 2②良性唾液腺腫瘍の病理組織像を説明できる。 2③悪性唾液腺腫瘍の病理組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①② E-2-4)-(8)④
病理-4	松本直行	腫瘍3	1 口腔粘膜の腫瘍 2 骨・軟部・造血器・リンパ系腫瘍	1A 口腔潜在的悪性疾患 1B 上皮異形成 1C 上皮内癌 1D 扁平上皮癌 2A 骨軟骨腫瘍および骨関連病変 2B 軟組織腫瘍 2C 造血器・リンパ系腫瘍	1①口腔潜在的悪性疾患を説明できる。 1②上皮異形成を説明できる。 1③上皮内癌を説明できる。 1④扁平上皮癌を説明できる。 2①顎骨内の非歯原性腫瘍の病理組織像を説明できる。 2②軟組織腫瘍の病理組織像を説明できる。 2③造血器・リンパ系腫瘍を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①~⑥ E-2-4)-(6)①~⑥ E-2-4)-(7)①② E-2-4)-(10)④ E-6① F-1-1)⑦
病理-5	松本直行	嚢胞 唾液腺疾患	1 嚢胞・偽嚢胞 2 唾液腺疾患	1A 歯原性嚢胞 1B 非歯原性嚢胞 1C 偽嚢胞 2A 嚢石症 2B 唾液腺炎	1①歯原性・非歯原性嚢胞の病理組織像を説明できる。 2①唾液腺に発生する非腫瘍性疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~③ E-2-4)-(5)①② E-2-4)-(8)①~③⑤~⑦
病理-6	松本直行	口腔粘膜疾患	1 口腔粘膜疾患	1A 口腔粘膜の非腫瘍性疾患	1①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-1)③ C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①②④ E-2-4)-(4)①② E-2-4)-(10)② E-6① F-1-1)⑦

指導教員: 松本直行

参考書: 「ロピンス基礎病理学」 Vinay Kumar他(著) 丸善出版; 原書10版 2018年  
「標準病理学」北川昌伸・仁木利郎(編集) 医学書院; 第6版 2019年  
「病理学総論にもとづく口腔病理学」井上孝・岡田康男・長谷川博雅・前田初彦 編集主幹 永末書店; 第3版 2022年  
「新口腔病理学」下野正基・高田隆・田沼順一・豊澤悟 編著 医歯薬出版; 第3版 2021年

参考URL: 「口腔病理基本画像アトラス」 日本臨床口腔病理学会 編  
<http://www.isop.or.jp/atlas/>  
「病理コア画像」日本病理学会 編  
<https://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html>

備考:



# 総合歯科医学5 (口腔微生物学)

授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物-1	角田衣理加	ユニット A 微生物の性状と感染・疾病の概念・感染対策	1A 疾病の概念 (感染) 1B 全身・口腔の生態系 1C 疾病の概念 (口腔微生物) 1D 微生物の分類・性状 1E 感染症の分類・感染様式	1Aa 疾病の概念 (感染) 1Ba 全身の常在微生物叢 1Bb 口腔常在微生物叢 1Ca 疾病の概念 (口腔微生物) 1Da 微生物の種類 1Db 細菌の分類 1Dc 細菌の構造 1Dd 細菌の代謝 1De 細菌の増殖 1Ea 感染と発症 1Eb 感染経路 1Ec 宿主の感受性 1Ed 寄生体の病原性 1Ee 病原微生物 1Ef 日和見感染 1Eg 内因感染・外因感染	1Aa① 疾病の概念 (感染) について説明する。 1Ba① 全身の生態系について説明する。 1Bb① 口腔の生態系について説明する。 1Ca① 疾病の概念 (口腔微生物) について説明する。 1Da① 微生物の種類を説明する。 1Db① 細菌の分類を説明する。 1Dc① 細菌の構造を説明する。 1Dd① 細菌の代謝を説明する。 1De① 細菌の増殖を説明する。 1Ea① 感染と発症の違いを説明する。 1Eb① 感染経路を説明する。 1Ec① (感染成立に関わる) 宿主側の因子を説明する。 1Ed① 寄生体の病原性を説明する。 1Ee① 病原微生物と常在微生物を説明する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 A-6-1) ⑥、A-6-3) ①~④、C-4-1) ①~⑤、C-6-2) ②、C-6-4) ②、E-1-5) ⑥~⑧
微生物-2	高尾亜由子		2A 院内感染対策 2B 滅菌・消毒	2Aa 標準予防策 2Ab 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性 2Ac 医療廃棄物処理 2Ad 院内感染対策委員会 2Ba 滅菌 2Bb 消毒	2Aa① 標準予防策を説明する。 2Ab① 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性を説明する。 2Ac① 医療廃棄物処理を説明する。 2Ad① 院内感染対策委員会を説明する。 2Ba① 滅菌と消毒の定義を説明する。 2Ba② 主要な滅菌法の条件と適用範囲を列挙する。 2Bb① 主要な消毒法の条件と適用範囲を列挙する。 2Bb② 主要な消毒剤の殺菌スペクトルを列挙する。 2Bb③ 歯科領域で特に重要な病原体の消毒法を列挙する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 C-4-1) ①~②、C-4-1) ①~⑤
微生物-3	角田衣理加	ユニット B 口腔常在微生物叢の潜在的病原性/成立と免疫応答	3A 口腔常在菌叢 3B 歯周病原菌と歯周病原因子 3C 齶歯原因菌と齶歯原因因子	3Aa ペリクル 3Ab プラーク (歯垢) 3Ac 歯肉溝滲出液 3Ad 歯肉縁下プラーク 3Ae 口腔常在菌叢 3Ba 歯周病原菌と歯周病原因子 3Ca 齶歯原因菌と齶歯原因因子	3Aa① ペリクルを説明する。 3Ab① プラーク (歯垢) を説明する。 3Ac① 歯肉溝滲出液を説明する。 3Ad① 歯肉縁下プラークを説明する。 3Ae① 口腔常在菌叢を説明する。 3Ba① 歯周病原菌と歯周病原因子を説明する。 3Ca① 齶歯原因菌と齶歯原因因子を説明する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 A-8-1) ①③、B-3-2) ①~③⑤、C-4-1) ①~③、E-2-2) ⑤、E-3-2) ①~④、E-3-3) -(1) ①、E-3-3) -(3) ①
微生物-4	角田衣理加		3D 免疫に関わる組織・細胞 3E 免疫機構 3F 免疫担当細胞と免疫に関わる液性因子	3Da 免疫に関わる組織 3Db 免疫に関わる細胞 3Ea 免疫機構 3Fa サイトカイン 3Fb 補体 3Fc 抗体	3Da① 中枢および末梢免疫関連臓器について説明する。 3Db① 免疫関連細胞を分類し説明する。 3Ea① 免疫応答の成り立ちの特性について説明する。 3Ea② 自然免疫について説明する。 3Ea③ 獲得免疫について説明する。 3Fa① サイトカインを列挙し、説明する。 3Fb① 補体の活性化経路を説明する。 3Fb② 補体の働きについて説明する。 3Fc① 抗体について説明する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 C-4-2) ①~⑧
微生物-5	高尾亜由子	ユニット C 免疫機構の成立	4A さまざまな免疫	4Aa 自然免疫と獲得免疫 4Ab 粘膜免疫 4Ac 自己寛容	4Aa① 自然免疫について説明する。 4Aa② 体液性免疫について説明する。 4Aa③ 細胞性免疫について説明する。 4Ab① 粘膜免疫の特殊性について説明する。 4Ac① 免疫における自己寛容の成立について説明する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 C-4-2) ①~②
微生物-6	高尾亜由子		4B ワクチン 4C アレルギー	4Ba ワクチン 4Ca 免疫異常 4Cb アレルギー性疾患	4Ba① ワクチンを列挙し、説明する。 4Ca① 免疫異常を説明する。 4Cb① アレルギー性疾患を説明する。	講義前にシラバスで内容を確認し、あらかじめ教科書を読んでおく。また、詳細な講義プリント配布するので、それと教科書を用いて復習すること。 C-4-2) ①~②

## 総合歯科医学5（薬理学）

**授業日程**

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理-1	出野 尚	1. 薬理学総論	1A. 薬物療法の目的 1B. 薬物適用 1C. 薬物動態	1Aa 病因療法 1Ab 対症療法 1Ac 補充療法 1Ad 予防療法 1Ba 経口適用 1Bb 注射 1Bc 動・静脈内適用 1Bd 吸入 1Be 舌下部適用 1Bf 直腸内適用 1Bg 局所適用 1Ca 吸収 1Cb 分布 1Cc 代謝 1Cd 排泄	1Aa-d① 病因療法、対症療法、補充療法、予防療法とそれらの具体例を述べる。  1Ba-g① 薬物の適用方法の種類を説明する。 1Ba-g② 適用方法それぞれの長所ならびに短所を説明する。  1Ca-d① 薬物の吸収に影響する因子を説明する。 1Ca-d② 薬物の分布に影響する因子を説明する。 1Ca-d③ 薬物の代謝と排泄について説明する。 1Ca-d④ 生物学的半減期、生体利用率の意味を説明する。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-6-2)-①~⑤ C-6-3)-①②
薬理-2	出野 尚	1. 薬理学総論	1D. 薬事法規 1E. 処方、処方箋、薬物の種類と管理 1F. 治験	1Da. 医薬品医療機器等法 1Db. 日本薬局方 1Dc. 処方箋 1Ea. 劇薬、毒薬、麻薬、覚醒剤の標示と保管  1Fa. 治験 1Fb. 薬効の評価	1Da-c① 医薬品医療機器等法と日本薬局方について説明する。  1Ea① 処方、処方箋について説明する。 1Ea② 薬物の種類と保管について説明する。  1Fab① 治験について説明する。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-6-1)-③ B-2-1)-④ C-6-1)-①~③
薬理-3	出野 尚	1. 薬理学総論	1G. 薬効に影響を及ぼす身体的 1H. 用量	1Ga 小児、妊婦、高齢者への投薬、服薬指導 1Ha. 有効量、治療量 1Hb. 中毒量 1Hc. 致死量 1Hd. 50%有効量 1He. 50%致死量	1Ga① 薬物の適用方法の種類を説明する。  1Ha-e① 薬物の用量と反応について説明する。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-6-2)-①~⑤ C-6-3)-①②
薬理-4	出野 尚	1. 薬理学総論	1I. 薬理作用の機序	1Ia. 受容体を介する作用 1Ib. 受容体を介さない作用	1Ia① 受容体を介する作用。 1Ib① 受容体を介さない作用。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-6-2)-②
薬理-5	中島和久	2. 抗感染薬  3. 抗炎症薬  4. 抗腫瘍薬  5. 止血薬と抗血栓薬	2A. 抗菌薬 2B. 抗真菌薬 2C. 抗ウイルス薬 2D. 消毒薬  3A. 抗炎症薬  4A. 抗腫瘍薬  5A. 止血薬 5B. 抗血栓薬	2Aa 抗菌薬 2Ba 抗真菌薬 2Ca 抗ウイルス薬 2Da 消毒薬  3Aa 非ステロイド性抗炎症薬 3Ab ステロイド性抗炎症薬 3Ac 解熱鎮痛薬  4Aa アルキル化薬 4Ab 代謝拮抗薬 4Ac 抗がん抗生物質 4Ad 植物アルカロイド 5Aa 血液凝固 機構 5Ab 全身性止血薬 5Ac 局所性止血薬 5Ba 抗凝血薬 5Bb 抗血小板薬 5Bc 血栓溶解薬	2Aa① 主な抗菌薬の作用機序、薬理作用と副作用を説明する。 2Ba① 主な抗真菌薬の作用機序、薬理作用と副作用を説明する。 2Ca① 主な抗ウイルス薬の作用機序、薬理作用と副作用を説明する。 2Da① 主な消毒薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。  3Aa① 主なNSAIDを列挙し、作用機序、薬理作用と副作用を説明する。 3Ab① ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用と副作用を説明する。 3Ac① 解熱鎮痛薬の作用機序、薬理作用と副作用を説明する。  4Aa-d① 抗腫瘍薬の作用機序と副作用を説明する。 4Aa-d② 耐性獲得の機序を説明する。  5Aa-c① 止血薬の作用機序を説明する。  5Ba-c① 抗血栓薬の作用機序を説明する。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-6-2)-② C-4-1)-④⑤
薬理-6	中島和久	6. 治療薬の副作用と有害作用	6A. 薬物の耐性、依存 6B. 副作用、毒性の種類 6C. 副作用への対策	6Aa 薬物の耐性、依存 6Ba 副作用 6Ca 副作用への対策	6Aa① 薬物の耐性、依存を説明する。  6Ba① 副作用を説明する。  6Ca① 副作用への対策を説明する。	講義の理解を図るため、配布プリントを見直し、復習すること。 C-4-1)-⑤ C-6-4)-①②

指導教員：二藤 彰、中島和久、出野 尚

参考書： 解る 歯科薬理学 第3版  
編集 坂上 宏、二藤 彰、浜田節男、李 昌一 学建書院

備 考： 初回にまとめプリントPDFを配布する。

## 総合歯科医学5（歯科理工学）

授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工-1	野本理恵	材料の性質	機械的性質 物理的性質 ワックスの種類 ワックスの変形	応力-ひずみ 硬さ 密度 熱膨張係数 熱伝導率 比熱 成分 応力緩和	①応力-ひずみ線図を説明する。 ②無機材料、金属材料、有機材料および複合材料の基本的性質について説明する。 ③各種ワックスの用途、成分について説明する。 ④ワックスの変形原因について説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。 該当する国試問題を解き、自分が理解できていない部分を確認する。 D-1-② E-3-4)-(1)-⑧
理工-2	野本理恵	金属材料	金合金 銀合金 非貴金属 石膏系埋没材 リン酸塩系埋没材 チタン専用埋没材 埋没材 石膏系埋没材 クリストバライト埋没材 石英埋没材 リン酸塩系埋没材 チタン専用埋没材 鑄造 鑄造欠陥	JIS規格金合金 カラット別金合金 白金合金 陶材焼付用金合金 金銀パラジウム合金 低融銀合金 CoCr合金 NiCr合金 Ti・Ti合金 クリストバライト埋没材 石英埋没材 鑄造 鑄造欠陥	①JIS規格の金合金について説明する。 ②陶材焼付用金合金について説明する。 ③金合金の添加元素について説明する。 ④金銀パラジウム合金について説明する。 ⑤銀合金の添加元素について説明する。 ⑥各種非貴金属について説明する。 ⑦各埋没材の耐熱性と鑄造合金との関連を説明する。 ⑧埋没材の性質とその性質に及ぼす因子について説明する。 ⑨埋没材の硬化膨張と加熱膨張を説明する。 ⑩鑄造方法について説明する。 ⑪鑄造収縮の補償について説明する。 ⑫鑄造欠陥の原因と対策について説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。 該当する国試問題を解き、自分が理解できていない部分を確認する。 D-2-②, D-2-④ E-3-4)-(1)⑤, ⑧
理工-3	新田馨子	印象材	各種印象材の種類、組成、硬化反応、性質 印象材の技術的考察 歯科用石膏 普通石膏 硬質石膏 超硬質石膏	弾性印象材、非弾性印象材 (寒天印象材、アルジネート印象材、シリコーンゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材、ポリサルファイドゴム印象材、酸化亜鉛ユージンオール印象材、モデリングコンパウンド、印象用石膏、印象用ワックス) 細部再現性 弾性ひずみ 永久ひずみ 組成 硬化反応 混水比 特徴	①弾性印象材および非弾性印象材の種類、組成、硬化反応、性質について説明する。 ②印象材を取り扱う際に必要な諸性質を説明する。 ①石膏の種類、組成および特徴について説明する。 ②石膏の硬化時間、硬化膨張および機械的性質に及ぼす因子について説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。 検印表に提示した Answerの該当ページの問題を予め解いておくこと。 D-1①②、D-2② E-3-4)-(1)⑤、⑧、⑨ E-3-4)-(2)⑥、⑩
理工-4	新田馨子	歯科用セメント 歯内療法用材料 歯科用器械	用途（合着、裏層、覆髄、仮封、充填、小窩裂溝充填） 各種セメントの性質と影響する因子 各種セメントの組成、硬化反応、所要性質 根管充填材 切削、研削、研磨および歯科器械	種類と用途 (リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージンオールセメント、EBAセメント、水酸化カルシウムセメント) ガッターチャポイント 切削工具・研磨材 診療用機器	①歯科用セメントの用途とその所要性質を関連付けて説明する。 ②各種セメントの特徴と用途を説明する。 ③各種セメントの組成と硬化反応を説明する。 ④粉液比と性質（硬化時間・機械的性質・粘性・被膜厚さ等）との関係を説明する。 ①ガッターチャポイントの組成について説明する。 ②ガッターチャポイントの特徴について説明する。 ①切削、研削について説明する。 ②切削、研削用器材について説明する。 ③各種診療用機器について説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。 検印表に提示した Answerの該当ページの問題を予め解いておくこと。 D-1①③④、D-2①、③、⑥ E-3-3)-(1)③、⑦ E-3-4)-(1)⑪

理工-5	廣田正嗣     床用レジン     接着     コンポジットレジン	加熱重合型レジン 常温重合型レジン  歯質接着機構、各接着操作の意味前処理および接着に用いる材料   分類と組成 化学重合型コンポジットレジン 光重合型コンポジットレジン	各種床用レジンの組成、性質、重合方法、硬化反応  接触角 エッチング プライミング ボンディング 酸性モノマー 金属接着性モノマー シランカップリング剤  コンポジットレジンの種類、組成、硬化機構および影響する因子 使用法	①各種床用レジンの種類、組成、性質、重合方法および硬化反応を説明する。  ①材料の接着について説明する。 ②化学的接着と機械的接着を説明する。 ③歯質との接着の機構を説明する。 ④接着操作におけるエッチング、プライミング、ボンディングの意味を説明する。 ⑤各材料に対する被着面処理の方法を説明する。 ⑥接着に用いるモノマーの化学構造を説明する。  ①コンポジットレジンの種類、組成、硬化機構および性質について説明する。 ②コンポジットレジンの硬化機構、使用法を説明する。 ③フィラーの分類、役割を説明する。 ④各種性質に影響する因子について説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。  検印表を参照して Answerの該当ページの問題を解いておき自分の理解度を把握しておくこと。 D-1①～③、D-2①～③ E-3-3)-(1)③、④ E-3-4)-(1)① E-3-4)-(2)①、②
理工-6	廣田正嗣     材料の性質   インプラント  骨補填材  細胞遮断膜 顎骨再建材料 止血材  陶材	生物学的性質  金属系、セラミックス系  金属、天然・合成高分子、生体吸収性材料  従来型陶材 アルミナ陶材 金属焼付用陶材 ニューセラミックス	歯科材料の生体親和性、細胞毒性およびアレルギー  種類、所要性質および骨との反応  種類、特徴および骨との反応  種類、所要性質  陶材の種類と組成 陶材焼付冠の製作法 ジルコニア ニケイ酸リチウムガラスセラミックス	①歯科生体材料の安全性について説明する。 ②生体親和性や材料の安全性に対するスクリーニング試験について説明する。  ①インプラントの種類、特徴を説明する。 ②インプラントと骨との反応を説明する。 ③インプラントの表面改質法を説明する。  ①骨補填材の種類、特徴および骨との反応を説明する。  ①細胞遮断膜、顎骨再建材料および止血材に用いられる材料の種類、所要性質を説明する。  ①歯科用陶材の種類、組成および性質を説明する。 ②陶材焼付冠の製作過程、接着機構を説明する。 ③ジルコニア、ニケイ酸リチウムガラスセラミックスの性質、成形法を説明する。	事前に manaba で配布している講義資料を参照し予習すること。  検印表を参照して Answerの該当ページの問題を解いておき自分の理解度を把握しておくこと。 D-1①～③、D-2②、⑤ E-3-4)-(1)②、⑧ E-3-4)-(3)①

コーディネータあるいは責任教員:

指導教員: 野本理恵、新田馨子、廣田正嗣

参考書: ①「スタンダード歯科理工学」第6版 榎本貢三 他 編集幹事 学建書院 2016(2017)年

②「基礎歯科理工学」宮坂 平 他 編集幹事 医歯薬出版 2019年

③「コア歯科理工学」小倉英夫 他 編集幹事 医歯薬出版 2008年

備考: 講義プリントは事前にmanabaにUPしますのでダウンロードまたはプリントアウトして講義に出席してください。

# 総合歯科医学5（口腔衛生学）

授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 -1	山田秀則	1 口腔衛生	1A 医の倫理	1Aa 医師の倫理 1Ab 患者の権利 1Ac 医学研究の倫理	1Aa① ヒポクラテスの誓いを説明する。 1Aa② ジュネーブ宣言を説明する。 1Ab① リスボン宣言を説明する。 1Ab② シドニー宣言を説明する。 1Ac① ニュルンベルグ綱領を説明する。 1Ac② ヘルシンキ宣言を説明する。	事前に教科書で予習すること。授業の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は授業担当教員に個別に質問すること。 コアカリキュラム A-1-1)-①、A-1-1)-②、A-1-1)-③、A-1-1)-④、A-1-1)-⑥、A-1-2)-①、A-1-2)-②、A-1-2)-③、A-1-2)-④、A-5-1)-⑤、A-5-1)-⑥
口腔衛生 -2	山田秀則	2 口腔衛生	1B 保健・医療・福祉・介護の制度 1C 医療経済 1D 臨床試験・治療 1E 院内感染 1F チーム医療	1Ba 健康増進法 1Bb 医療法 1Bc 社会保障 1Bd 介護保険制度 1Ca 医療保険制度 1Da 臨床試験・治療と倫理 1Ea 院内感染対策 1Fa チーム医療の意義	1Ba① 健康増進法を説明する。 1Ba② 健康日本21（第二次）を説明する。 1Bb① 医療施設の定義を説明する。 1Bb② 標榜できる診療科を説明する。 1Bb③ 医療計画を説明する。 1Bc① 社会保障制度を説明する。 1Bd① 介護保険法を説明する。 1Bd② 地域包括ケアシステムを説明する。 1Ca① 国民皆保険制度を説明する。 1Ca② 医療保険の枠組みを説明する。 1Da① 臨床試験・治療の進め方を説明する。 1Ea① 感染性医療廃棄物を説明する。 1Ea② スタンダードプリコーションを説明する。 1Fa① 医療関連職種を説明する。 1Fa② チーム医療の意義を説明する。	事前に教科書で予習すること。授業の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は授業担当教員に個別に質問すること。 コアカリキュラム A-5-1)-①、A-5-1)-②、A-6-1)-⑥、A-6-3)-②、A-7-1)-②、A-7-1)-③、B-2-1)-②、B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-2-2)-②、B-2-2)-③、B-2-2)-④、B-2-2)-⑤、B-2-2)-⑦、B-2-2)-⑧
口腔衛生 -3	梁 洪淵	3 口腔衛生	1G う蝕の予防・管理  1H 歯周病の予防・管理 1I 口臭の原因と治療・対応法 1J ブラークコントロールと歯口清掃	1Ga う蝕の病因論 1Gb う蝕のリスク診断 1Gc 予防填塞法 1Gd フッ化物の応用と予防機序 1Ge フッ化物の代謝と安全性 1Ha 歯周病の病因論 1Hb 歯周病と全身の健康 1Ia 口臭の分類と原因 1Ib 口臭の検査 1Ic 口臭の予防と治療・対応法 1Ja 物理的清掃 1Jb 化学的清掃 1Jc 歯磨剤の機能	1Ga① う蝕の発生要因を説明する。 1Ga② う蝕の予防方法を説明する。 1Gb① う蝕のリスク診断を説明する。 1Gc① 予防填塞法を説明する。 1Gd① 自然界のフッ素を説明する。 1Gd② フッ化物の応用法を説明する。 1Gd③ フッ化物の予防機序を説明する。 1Ge① フッ化物の代謝を説明する。 1Ge② フッ化物による中毒を説明する。 1Ha① 歯周病の病因を説明する。 1Ha② 歯周病のリスクファクターを説明する。 1Hb① 歯周病の予防方法を説明する。 1Hb② 全身の健康との関連を説明する。 1Ia① 口臭の分類を説明する。 1Ia② 口臭の原因を説明する。 1Ib① 口臭の検査を説明する。 1Ic① 口臭の予防と口臭症への対応法を説明する。 1Ic② 口臭の治療法を説明する。 1Ja① 物理的清掃の種類と方法を説明する。 1Jb① 化学的清掃の種類を説明する。 1Jc① 歯磨剤の成分を説明する。 1Jc② 歯磨剤の薬効成分を説明する。	指定した教科書を事前に読んでおくこと。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。 コアカリキュラム B-1)②、B-3-2)①②③⑤、B-4-1)③ E-3-2)④、E-3-3)③①

口腔衛生 -4	山田秀則	4 口腔衛生	1K 健康の概念 1L 地域保健	1Ka 健康・疾病・障害の概念 1Kb 健康の保持・増進と予防 1La 国際保健 1Lb 地域保健総論 1Lc 母子保健 1Ld 学校保健	1Ka① 疾病の自然史と予防段階を説明する。 1Kb① ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを説明する。 1Kb② スクリーニングを説明する。 1La① 国際保健機関を説明する。 1La② 多国間協力を説明する。 1La③ 二国間協力を説明する。 1Lb① 地域保健法を説明する。 1Lb② 保健所を説明する。 1Lb③ 市町村保健センターを説明する。 1Lc① 母子保健法に基づく事業を説明する。 1Lc② 児童虐待を説明する。 1Lc③ 自立支援医療(育成医療)を説明する。 1Ld① 学校保健安全法に基づく事業を説明する。 1Ld② 学校保健の領域を説明する。	事前に教科書で予習すること。授業の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は授業担当教員に個別に質問すること。 コアカリキュラム A-7-2)-③、A-7-2)-⑤、B-1-1)-①、B-2-2)-①、B-2-2)-⑥、B-3-1)-①、B-3-1)-②、B-3-1)-③、B-3-1)-④、B-4-1)-②
口腔衛生 -5	山田秀則	5 口腔衛生	1L 地域保健	1Le 産業保健 1Lf 成人保健 1Lg 高齢者保健 1Lh 精神保健	1Le① 労働安全衛生法に基づく事業を説明する。 1Le② 労働災害を説明する。 1Le③ 職業性疾患を説明する。 1Lf① 健康増進法に基づく事業を説明する。 1Lf② 特定健康診査・特定保健指導を説明する。 1Lg① 介護保険制度を説明する。 1Lg② 地域包括ケアシステムを説明する。 1Lg③ 後期高齢者医療制度を説明する。 1Lh① 精神保健の現状を説明する。 1Lh② 精神保健福祉法に基づく事業を説明する。	事前に教科書で予習すること。授業の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は授業担当教員に個別に質問すること。 コアカリキュラム A-7-1)-③、B-2-2)-①、B-2-2)-③、B-2-2)-④、B-2-2)-⑤、B-2-2)-⑥
口腔衛生 -6	梁 洪淵	6. 口腔衛生	1M 地域口腔保健	7Ma 母子歯科保健活動 7Mb 学校歯科医の役割 7Mc 学校歯科健康診断 7Md 産業保健の健康診断 7Me 産業保健の健康管理	1Ma① 妊産婦への歯科保健を説明する。 1Ma② 1歳6か月児歯科健康診査を説明する。 1Ma③ 3歳児歯科健康診査を説明する。 1Ma④ 幼児の歯科疾患予防を説明する。 1Mb① 学校歯科医の任務を説明する。 1Mc① 学校歯科健康診断の種類を説明する。 1Mc② 学校歯科健康診断の方法を説明する。 1Md① 口腔領域の職業性疾患を説明する。 1Me① トータルヘルスプロモーションプランにおける口腔保健を説明する。	指定した教科書を事前に読んでおくこと。 受講後には講義内容を復習し、理解の充実に努めること。 コアカリキュラム B-3-2)④、E-4-2)①
口腔衛生 -7	山田秀則	7 口腔衛生	1N 統計 1O 疫学 1P 感染症 1Q 食品と栄養 1R 環境	1Na 人口統計 1Nb 保健統計 10a 疫学の応用 1Pa 感染症対策 1Qa 食品保健 1Qb 国民栄養 1Ra 環境保健	1Na① 人口静態統計を説明する。 1Na② 国勢調査を説明する。 1Na③ 人口動態統計を説明する。 1Na④ 各種出生率を説明する。 1Na⑤ 我が国の主な死因を説明する。 1Nb① 主な保健統計を説明する。 10a① 主な疫学指標を説明する。 10a② 記述疫学を説明する。 10a③ 分析疫学を説明する。 1Pa① 感染症法を説明する。 1Pa② 感染症の3要因を説明する。 1Pa③ 主な感染症を説明する。 1Pa④ 予防接種法を説明する。 1Qa① 食品衛生法を説明する。 1Qa② 食中毒を説明する。 1Qb① 国民健康・栄養調査を説明する。 1Qb② 日本人の食事摂取基準を説明する。 1Qb③ 機能性食品を説明する。 1Qb④ 食事バランスガイドを説明する。 1Ra① 公害を説明する。 1Ra② 地球規模の環境汚染を説明する。 1Ra③ 環境基準を説明する。 1Ra④ 上水道・下水道を説明する。	事前に教科書で予習すること。授業の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は授業担当教員に個別に質問すること。 コアカリキュラム B-4-1)-①、B-4-2)-①、B-4-2)-②、B-4-2)-③、B-4-2)-④、B-1-③、B-2-2)-①、B-2-4)-①、B-2-4)-②、C-4-1)-③

口腔衛生 -8	梁 洪淵	8 口腔衛生	1S 国民の口腔保健状況 1T 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 1U 口腔保健の指標	1Sa 口腔保健統計調査 1Ta 歯科保健目標 1Tb 口腔保健支援センター 1Ua 口腔保健の疫学指標	1Sa① 歯科疾患実態調査から我が国の口腔保健状況を説明する。 1Sb① 学校保健統計調査から我が国の口腔保健状況を説明する。 1Ta① 歯科口腔保健の推進に関する法律と健康日本21（第二次）の歯科口腔の保健目標を説明する。 1Tb① 口腔保健支援センターについて説明する。 1Ua① 齲蝕の疫学指標を説明する。 1Ua② 歯周疾患の疫学指標を説明する。 1Ua③ 口腔清掃度の疫学指標を説明する。 1Ua④ その他の疫学指標を説明する。	指定した教科書を事前に読んでおくこと。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。 コアカリキュラム B-2-2)-①、B-3-2)-④、B-4-1)③、B-4-2)-②、E-3-3)-(1)①
------------	------	--------	---	---	--	---

コーディネータあるいは責任教員：村田 貴俊

指導教員：梁 洪淵、山田 秀則

参考書： 「口腔保健・予防歯科学」医歯薬出版 第2版第1刷発行  
「公衆衛生がみえる2022-2023」医療情報科学研究所 編      メディックメディア 第5版

備 考： 毎回、教科書を中心とした講義を行う

# 総合歯科医学5 (保存修復学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復-1	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1A. 保存修復学概論 1B. 齶蝕、齶蝕以外の硬組織疾患	1Aa. 歯の構造 1Ab. 検査・診断 1Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因	1Aa① エナメル質の構造を説明できる。 1Aa② 象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。 1Ab① 歯の硬組織疾患の検査法と診断を説明できる。 1Ba① う蝕の病因と病態を説明できる。 1Ba② う蝕以外の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第1～3章を読み、講義に備えること。 授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-2)①、E-3-3)-(1)①
修復-2	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1C. 診療設備・器材 1D. 修復方法 1E. 歯髄損傷・歯髄保護	1Ca. 回転切削器械 1Cb. 回転切削器具 1Cc. 手用切削器具 1Cd. レーザー 1Da. 修復法の種類 1Db. 修復の前準備 1Ea. 歯髄刺激 1Eb. 歯髄保護 1Ec. 覆髄と裏層 1Ed. 仮封	1Ca① 回転切削器械について説明できる。 1Cb① 回転切削器具について説明できる。 1Cc① 手用切削器具について説明できる。 1Cd① レーザーについて説明できる。 1Da① 歯冠修復の意義、種類を説明できる。 1Da② 直接修復と間接修復について説明できる。 1Da③ 接着性修復と非接着性修復について述べる。 1Db① 修復に必要な前処置の意義について説明できる。 1Ea① 歯髄障害について説明できる。 1Eb① 歯髄保護について説明できる。 1Ec① 覆髄と裏層について説明できる。 1Ed① 仮封について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第4～5章および第7章を読み、講義に備えること。 授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1)①③、E-3-3)-(1)⑤⑦
修復-3	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1Fa. コンポジットレジン材料学 1Fb. コンポジットレジン修復の特徴と適応症	1Fa① コンポジットレジンの組成を説明できる。 1Fb① ミニマルインターベンションを説明できる。 1Fb② コンポジットレジン修復の特徴と適応症を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第8章を読み、「歯科国試 Answer 2021 歯科保存 1 Volume 5」3-1章および3-2章等を解いて講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノートを見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1)①②、D-2)①、E-3-3)-(1)①～④⑥⑧
修復-4	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1Fc. コンポジットレジン接着理論 1Fd. コンポジットレジン修復の手順 1Fe. 補修修復	1Fc① コンポジットレジン接着メカニズムを説明できる。 1Fd① コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 1Fe① 補修修復について説明できる。	「保存修復学21 第五版」第8章および17章を読み、「歯科国試 Answer 2021 歯科保存 1 Volume 5」3-1章および3-2章等を解いて講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノートを見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1)①②、D-2)①、E-3-3)-(1)①～④⑥⑧
修復-5	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1G. 窩洞 1H. 間接修復法	1Ga. 窩洞の名称と分類 1Gb. 窩洞の条件 1Ha. メタルインレー修復 1Hb. コンポジットレジンインレー修復 1Hc. セラミックインレー修復 1Hd. 合着・接着	1Ga① 窩洞の構成、名称、分類を説明できる。 1Gb① 窩洞形成法を説明できる。 1Ha① メタルインレー修復の手順を説明できる。 1Hb① コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。 1Hc① セラミックインレー修復の手順を説明できる。 1Hd① 合着用、接着用セメントについて説明できる。 1Hd② 各種セメントの素性・用法・注意点について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第6章および第11～14章を読み、講義に備えること。 授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1)①②、D-2)②③ E-3-3)-(1)①③⑥⑦
修復-6	大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法 1G. 歯の漂白 1H. ベニア修復	1Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴 1Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順 1Ga. 変色歯の漂白の特徴・臨床手順 1Ha. ベニア修復の特徴・臨床手順	1Ff① グラスアイオノマーセメントの組成について述べる。 1Ff② グラスアイオノマーセメント修復の材料学的特徴を述べる。 1Fg① グラスアイオノマー修復の手順について述べる。 1Ga① 変色歯・着色歯の症状、診断および処置について述べる。 1Ga② 無髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ga③ 有髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ha① ベニア修復の特徴・手順について述べる。	「第五版 保存修復学21」第16章および第15章を読み、講義に備えること。 授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1)①②、D-2)①～③ E-3-2)①、E-3-3)-(1)①③⑥⑧

コーディネータあるいは責任教員:

指導教員: 大森かをる

参考書: 「第五版 保存修復学21」

監修 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 永末書店

「第六版 保存修復学21」

監修 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 永末書店

「第七版 保存修復学」

編集 千田 彰、宮崎真至、林 美加子、向井義晴、斎藤隆史 医師役出版

備考: 講義の資料は事前にmanabaにUPしますのであらかじめダウンロードをしておいてください。



## 総合歯科医学5 (歯内療法学)

授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内-1	山崎泰志	歯内療法総論	診査・診断 歯の硬組織疾患	歯の硬組織疾患、歯髄疾患の概要 歯髄疾患の診断法 高齢者の歯科治療	①歯の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。 ②歯髄疾患の診断法を説明できる。 ③加齢による歯と歯髄の変化を列挙できる。 ④高齢者の歯内治療における留意事項を列挙できる。	予習：歯内疾患の概念と歯内治療の目的と歯の検査法を説明できる。 復習：正常な歯・歯周組織の構造と機能、歯の異常形態と好発部位を列挙できる。歯髄の退行変性を列挙できる。 E-3-1) ③④⑤ E-3-2) ①②④ E-3-3) - (2) ①
歯内-2	山崎泰志	歯内療法各論	歯髄疾患	歯髄疾患の概要 歯髄疾患の治療方針 歯髄疾患の治療と治癒機転	①歯髄疾患の病因を説明できる。 ②歯髄疾患の経過と特徴を説明できる。 ③歯髄疾患の治療方針を説明できる。 ④歯髄疾患の治癒機転を説明できる。 ⑤歯髄疾患の緊急処置を説明できる。 ⑥抜髄治療の術式を説明できる。	予習：歯髄疾患の病因と病態を説明できる。それぞれの歯髄疾患の治療方針を説明できる。 復習：症状から診断名を決定できる。歯髄保存療法、除去療法の適応症、処置について説明できる。 E-3-2) ① E-3-3) - (1) ⑤
歯内-3	山崎泰志	歯内療法各論	根尖性歯周組織疾患	感染根管の概念失活歯の臨床判断 感染根管治療の適応症と禁忌症 根尖性歯周組織疾患の概要および診断法 根尖性歯周組織疾患の治療方針 根尖性歯周組織疾患の治療法と治癒機転	①感染根管の病因、病原性を説明できる。 ②感染根管治療の適応症、禁忌症を説明できる。 ③根尖性歯周炎の病因を説明できる。 ④根尖性歯周炎の特徴と経過を説明できる。 ⑤根尖性歯周炎の診断法を説明できる。 ⑥根尖性歯周炎の治療方針を説明できる。 ⑦根尖性歯周炎の治療、治癒機転を説明できる。 ⑧急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明できる。	予習：それぞれの根尖性歯周炎を説明できる。 復習：急性化膿性根尖性歯周炎の各期の症状、処置を列挙できる。根尖の治癒経過を説明できる。 E-3-2) ②, E-3-3) - (2) ①④
歯内-4	山崎泰志	歯内療法各論	根管治療 外科的歯内治療	歯髄疾患の根管治療 根尖性歯周炎の根管治療 根管長測定法、根管の機械的、化学的清掃 根管消毒 根管内容物の検査 根管充填の目的、時期 根管充填の術式 根管充填後の治癒機転 外科的歯内治療の適応症と術式	①根管治療のための機材、器具を説明できる。 ②根管の消毒法を説明できる。 ③根管拡大、形成、清掃、乾燥の目的を説明できる。 ④根管内容物の検査法について説明できる。 ⑤根管充填の目的、時期を説明できる。 ⑥根管充填の術式を説明できる。 ⑦根管治療後の根尖歯周組織の治癒機転を説明できる。 ⑧外科的歯内治療の適応症と分類を列挙できる。 ⑨外科的歯内治療の術式を列挙できる。	予習：歯内治療で用いる器具を説明できる。外科的歯内療法を列挙できる。 復習：隔壁の手順を説明できる。外科的歯内療法を列挙できる。 E-3-3) - (2) ①②③④⑤
歯内-5	山崎泰志	歯内療法各論	歯の変色と漂白 象牙質知覚過敏症 歯の外傷	歯の変色と漂白法 象牙質知覚過敏症の診断 外傷歯の分類、原因、診断と治療法	①歯の変色の原因を列挙できる。 ②歯の漂白法を説明できる。 ③象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断、治療法を説明できる。 ④外傷歯の特徴、検査法を列挙できる。 ⑤外傷歯の診断と治療法を説明できる。	予習：象牙質知覚過敏症を説明できる。外傷の分類が列挙できる。 復習：象牙質知覚過敏症の治療法と薬剤を列挙できる。外傷歯の治療法を説明できる。 E-2-4) - (2) ③, E-3-2) ① E-3-3) - (1) ①
歯内-6	山崎泰志	歯内療法各論	歯内治療における偶発症と安全対策 皮下気腫 歯根吸収 顕微鏡を応用した歯内治療 幼児永久歯の処置その他	偶発症の分類、原因、安全対策、処置法 歯根吸収の分類、原因、診断と治療法 顕微鏡による検査と処置 アベキシフィケーション アベキシゲネーシス	①歯内治療における偶発症を列挙できる。 ②偶発症の原因、安全対策、治療法を説明できる。 ③歯根吸収の分類、原因、診断を列挙できる。 ④歯根吸収の治療法を説明できる。 ⑤顕微鏡による検査および処置の特徴を説明できる。 ⑥アベキシフィケーション、アベキシゲネーシスの定義、目的、術式を説明できる。	予習：偶発症を列挙できる。 復習：偶発症の処置方法を説明できる。根未完成歯の治療を説明できる。 E-3-3) - (2) ⑦, E-4-2) ④⑤, E-3-3) - (2) ③⑦, D-1 ③

指導教員： 山崎泰志

参考書： 歯科国試 Answer2024 Vol.1 必修の基本的事項 DES歯学教育スクール テコム  
 歯科国試 Answer2024 Vol.5 歯科保存学1 (保存修復学/歯内療法学) DES歯学教育スクール テコム  
 エンドンティクス第5版 興地隆史、石井信之、小木曾文内 編集主幹 永末書店  
 歯内治療学第5版 勝海一郎、興地隆史、石井信之、中田和彦 編集主幹 医歯薬出版  
 ハンディ歯内療法学 斉藤 毅、須田英明、中村治郎 他 編集 学健書院

備考： E-Mail  
 山崎泰志 yamazaki-v@tsurumi-u.ac.jp

# 総合歯科医学5 (歯周病学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周-1	八島章博	1. 歯周治療学概論 2. 歯周病の症状・病態 3. 歯周病の病因 4. 歯周医学1	1 A. 歯周病の病理・組織学 2 A. 肉眼的所見 2 B. エックス線所見 3 A. 細菌因子 3 B. 宿主因子 3 C. 環境因子 4 A. 歯周疾患が全身に与える影響	1 Aa. 歯周病の特徴 1 Ab. 歯周病の進行 1 Ac. 歯周組織の構造 1 Ad. 歯周組織の付着様式 1 Ae. アタッチメントレベル 1 Af. 生物学的幅径 1 Ag. 歯周組織の病理 2 Aa. 歯肉炎の症状 2 Ab. 歯周炎の症状 2 Ac. 歯肉溝浸出液 2 Ad. 歯・歯肉の形態異常 2 Ba. 水平性骨吸収と垂直性骨吸収 3 Aa. 歯周病原細菌 3 Ba. 局所性修飾因子 3 Bb. 全身性修飾因子 3 Ca. 喫煙 3 Cb. 全身疾患 4 Aa. 歯周病と心臓疾患 4 Ab. 歯周病と糖尿病	1 Aa①. 歯周組織の特徴を説明できる 1 Ab②. 歯周病の進行を説明できる 1 Ac③. 歯周組織の構造を説明できる 1 Ad④. 歯周組織の付着様式を説明できる 1 Ae⑤. アタッチメントレベルを説明できる 1 Af⑥. 生物学的幅径を説明できる 1 Ag⑦. 歯周病の進行と病理像の特徴を説明できる 2 Aa①. 歯肉炎を説明できる 2 Ab②. 歯周炎を説明できる 2 Ac③. 歯肉溝浸出液を説明できる 2 Ad④. 歯の形態異常を説明できる 2 Ad⑤. 歯肉の形態異常を説明できる 2 Ba①. 水平性骨吸収と垂直性骨吸収を説明できる 3 Aa①. 歯周病原細菌を列挙し説明できる 3 Ba①. 炎症性修飾因子を列挙し説明できる 3 Ba②. 外傷性修飾因子を列挙し説明できる 3 Bb③. 全身疾患と歯周病の関係を説明できる 3 Ca①. 喫煙が歯周病に与える影響を説明できる 3 Cb②. 薬剤が歯周病に与える影響を説明できる 4 Aa①. 心臓疾患と歯周病の関係を説明できる 4 Ab②. 糖尿病と歯周病の関係を説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前学習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-1)-⑥ コアカリ番号：E-3-2)-③ コアカリ番号：E-3-2)-④ コアカリ番号：E-3-3)-③)-①
歯周-2	八島章博	5. 歯周組織の検査 6. 歯周組織の診断	5 A. 検査 6 A. 歯肉病変の診断 6 B. 歯周炎の分類 6 C. 特殊な歯周疾患の分類 6 D. 歯周病の新分類	5 Aa. 歯周ポケット検査 5 Ab. 歯槽骨の形態異常検査 5 Ac. アタッチメントレベル 5 Ad. 咬合検査 5 Ae. 歯肉の検査 6 Aa. プラーク性歯肉炎 6 Ab. 非プラーク性歯肉炎 6 Ac. 歯肉増殖症 6 Ba. 慢性歯周炎 6 Bb. 侵襲性歯周炎 6 Ca. 壊死性潰瘍性歯周病変 6 D. 歯周病の新分類	5 Aa①. 歯周ポケット検査法を説明できる 5 Ab②. 歯槽骨形態異常の検査を説明できる 5 Ac③. アタッチメントレベル測定法を説明できる 5 Ad④. 咬合検査法を説明できる 5 Ae⑤. 歯肉の検査法を説明できる 6 Aa①. プラーク性歯肉炎について説明できる 6 Ab②. 非プラーク性歯肉炎について説明できる 6 Ac③. 歯肉増殖症について説明できる 6 Ba①. 慢性歯周炎について説明できる 6 Bb②. 侵襲性歯周炎について説明できる 6 Bc③. 壊死性潰瘍性歯周病変について説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前学習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-3)-③)-① コアカリ番号：E-3-3)-③)-②
歯周-3	八島章博	7. 歯周基本治療	7 A. プラークコントロール 7 B. スケーリング・ルートプレーニング 7 C. 咬合調整 7 D. 暫間固定 7 E. 歯周薬物療法	7 Aa. 毛先を使うブラッシング法 7 Ab. 脇腹を使うブラッシング法 7 Ac. 補助的清掃用具 7 Ba. スケーリング 7 Bb. ルートプレーニング 7 Ca. 咬合調整法 7 Da. 暫間固定法 7 Ea. 局所薬物配送システム	7 Aa①. 毛先を使うブラッシング法を説明できる 7 Ab②. 脇腹を使うブラッシング法を説明できる 7 Ac③. 補助的清掃用具を説明できる 7 Ba①. スケーリングについて説明できる 7 Bb②. ルートプレーニングについて説明できる 7 Bb③. グレーシーキュレットについて説明できる 7 Bb④. シャーピングを説明できる 7 Ca①. 咬合調整法を説明できる 7 Da①. 暫間固定法を説明できる 7 Ea①. 局所薬物配送システムを説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前学習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-3)-③)-③
歯周-4	八島章博	8. 歯周外科処置1	8 A. 外科処置概論 8 B. 歯周ポケットを除去・減少させる手術	8 Aa. 切開法 8 Ab. 縫合法 8 Ac. 歯周外科器具 8 Ba. 組織付着療法 8 Bb. 切除療法	8 Aa①. 切開・剥離法を説明できる 8 Ab②. 縫合法を説明できる 8 Ac③. 歯周外科器具を説明できる 8 Ba①. 組織付着療法を列挙し説明できる 8 Bb②. 切除療法を列挙し説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前学習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-3)-③)-④
歯周-5	八島章博	9. 歯周外科処置2	9 A. 歯周形成外科手術 9 B. 歯周組織再生療法 9 C. 破折・抜歯	9 Aa. 付着歯肉幅の獲得を目的とする手術 9 Ab. 小帯切除術 9 Ac. 根面被覆を目的とする手術 9 Ba. 組織誘導再生法(GTR法) 9 Bb. エナメルマトリックスタンパク質 9 Bc. 塩基性線維芽細胞増殖因子 (FGF-2) 9 Bd. 組織工学 9 Ca. 歯根破折	9 Aa①. 付着歯肉幅の獲得を目的とする手術を列挙し説明できる 9 Ab②. 小帯切除術を列挙し説明できる 9 Ac③. 根面被覆を目的とする手術を列挙し説明できる 9 Ba①. GTR法を説明できる 9 Bb②. EMDを説明できる 9 Bc③. FGF-2を説明できる 9 Bd④. 組織工学の因子を説明できる 9 Ca①. 歯根破折とその対応を説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前学習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-3)-③)-④

歯周-6	八島章博	10. 歯周外科処置 3 11. メンテナンス 12. 歯周病の予防 13. 歯周医学 2	10A. 根分岐部病変の処置 11A. メンテナンス・サポータップ ペリオドンタルセラピー 12A. 歯周病の予防 13A. 歯周膿瘍 13B. 遺伝性疾患 13C. 歯内-歯周疾患	10Aa. フェルカプラスティ 10Ab. ルートセパレーション 10Ac. ヘミセクション/トライセクション 11Aa. メンテナンス 11Ab. サポータップペリオドンタルセラピー (SPT) 12Aa. 歯周病の予防 13Aa. 歯周膿瘍 13Ba. 遺伝性疾患 13Ca. 歯内-歯周疾患	10Aa①. フェルカプラスティについて説明できる 10Ab②. ルートセパレーションについて説明できる 10Ac③. ヘミセクションについて説明できる 10Ac④. トライセクションについて説明できる 11Aa①. メンテナンスについて説明できる 11Ab②. SPTについて説明できる 12Aa. 歯周病の予防について説明できる 13Aa①. 歯周膿瘍について説明できる 13Ba①. 遺伝性疾患について説明できる 13Ca①. 歯内-歯周疾患について説明できる	歯周病学ノートならびに歯周治療プラクティスマニュアルを使用し、臨床歯周病学を参考図書とし事前予習ならびに復習を行うこと。 コアカリ番号：E-3-3)-(3)-(4) コアカリ番号：E-3-3)-(3)-(5) コアカリ番号：E-3-2)-(4)
------	------	---	---	--	--	---

コーディネータあるいは責任教員：八島章博

指導教員： 八島章博

参考書： 「歯周病学ノート 第3版」 歯周病学講座作成  
「歯周病の基礎と臨床 第2版」 歯周病学講座作成  
「歯周治療プラクティスマニュアル 第6版」 五味一博編集 永末書店 2021年  
「臨床歯周病学 第3版」 村上伸也編集 医歯薬出版株式会社 2020年  
「ザ・ペリオドントロジー 第4版」 沼部幸博編集 永末書店 2023年

備考：

# 総合歯科医学5（全部床義歯補綴学）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床-1	米山喜一	1必修の基本的事項としての総論 2必修の基本的事項としての診査、検査、診断、印象採得	1A補綴装置としての全部床義歯 1B無歯顎の病因と病態 1C主要症候 2A診察、検査 2B診断と治療計画の立案 2C前処置 2D印象採得	1Aa歯科補綴学と義歯治療 1Ba維持、支持、安定 1Ca義歯による疼痛と障害 2Aa診察と検査 2Ba診断と治療計画の立案 2Ca前処置 2Da印象材と印象法の種類 2Db概形印象 2Dc精密印象	1Aa①無歯顎補綴治療の目的を説明する。 1Ba①義歯の維持、支持、安定を説明する。 1Ca①義歯による疼痛と障害について説明する。 2Aa①診察と検査の種類を説明する。 2Ba①診断と治療計画を説明する。 2Ca①補綴的前処置の目的と意義を説明する。 2Ca②外科的前処置の目的と意義を説明する。 2Da①無歯顎に用いる印象材の特徴・用途を説明する。 2Da②印象法の種類と印象採得法を説明する。 2Db①概形印象の目的と材料を説明する。 2Db②研究用模型の目的について説明する。 2Dc①個人トレーの必要性を説明する。 2Dc②辺縁形成と関連する筋を説明する。	授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、EE-1-1①～⑥、E-2-1③⑥、E-2-2①～⑥、E-2-3④、E-2-4-(4)①、E-3-4-(2)①～⑧
全部床-2	米山喜一	1必修の基本的事項としての総論 2必修の基本的事項としての診査、検査、診断、印象採得、顎間関係の記録	1A補綴装置としての全部床義歯 1B無歯顎の病因と病態 1C主要症候 2A診察、検査 2B診断と治療計画の立案 2C前処置 2D印象採得 2E顎間関係の記録 2F下顎運動の記録	1Aa歯科補綴学と義歯治療 1Ba維持、支持、安定 1Ca義歯による疼痛と障害 2Aa診察と検査 2Ba診断と治療計画の立案 2Ca前処置 2Da印象材と印象法の種類 2Db概形印象 2Dc精密印象 2Ea仮想咬合平面の決定 2Ebフェイスボウトランスファー 2Ec垂直的顎間関係の記録 2Ed水平的顎間関係の記録 2Ee標示線 2Fa咬合器の種類と調節 2Fb下顎運動の測定法	1Aa①無歯顎補綴治療の目的を説明する。 1Ba①義歯の維持、支持、安定を説明する。 1Ca①義歯による疼痛と障害について説明する。 2Aa①診察と検査の種類を説明する。 2Ba①診断と治療計画を説明する。 2Ca①補綴的前処置の目的と意義を説明する。 2Ca②外科的前処置の目的と意義を説明する。 2Da①無歯顎に用いる印象材の特徴・用途を説明する。 2Da②印象法の種類と印象採得法を説明する。 2Db①概形印象の目的と材料を説明する。 2Db②研究用模型の目的について説明する。 2Dc①個人トレーの必要性を説明する。 2Dc②辺縁形成と関連する筋を説明する。 2Ea①咬合床の修正を説明する。 2Ea②基準平面の意義を説明する。 2Ea③仮想咬合平面の設定法を説明する。 2Eb①フェイスボウトランスファーの意義を説明する。 2Ec①垂直的顎間関係の決定法を列挙する。 2Ed①水平的顎間関係の決定法を列挙する。 2Ee①標示線を説明する。 2Fa①咬合器の種類を列挙する。 2Fa②模型の装着法を説明する。 2Fa③顎路調節の原理を説明する。 2Fb①下顎位を説明する。 2Fb②下顎頭と切歯点の運動を関連づけて説明する。 2Fb③下顎運動の測定法を説明する。	授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、EE-1-1①～⑥、E-2-1③⑥、E-2-2①～⑥、E-2-3④、E-2-4-(4)①、E-3-4-(2)①～⑧
全部床-3	米山喜一	1必修の基本的事項としての総論 2必修の基本的事項としての診査、検査、診断、印象採得、顎間関係の記録	1A補綴装置としての全部床義歯 1B無歯顎の病因と病態 1C主要症候 2A診察、検査 2B診断と治療計画の立案 2C前処置 2D印象採得 2E顎間関係の記録 2F下顎運動の記録	1Aa歯科補綴学と義歯治療 1Ba維持、支持、安定 1Ca義歯による疼痛と障害 2Aa診察と検査 2Ba診断と治療計画の立案 2Ca前処置 2Da印象材と印象法の種類 2Db概形印象 2Dc精密印象 2Ea仮想咬合平面の決定 2Ebフェイスボウトランスファー 2Ec垂直的顎間関係の記録 2Ed水平的顎間関係の記録 2Ee標示線 2Fa咬合器の種類と調節 2Fb下顎運動の測定法	1Aa①無歯顎補綴治療の目的を説明する。 1Ba①義歯の維持、支持、安定を説明する。 1Ca①義歯による疼痛と障害について説明する。 2Aa①診察と検査の種類を説明する。 2Ba①診断と治療計画を説明する。 2Ca①補綴的前処置の目的と意義を説明する。 2Ca②外科的前処置の目的と意義を説明する。 2Da①無歯顎に用いる印象材の特徴・用途を説明する。 2Da②印象法の種類と印象採得法を説明する。 2Db①概形印象の目的と材料を説明する。 2Db②研究用模型の目的について説明する。 2Dc①個人トレーの必要性を説明する。 2Dc②辺縁形成と関連する筋を説明する。 2Ea①咬合床の修正を説明する。 2Ea②基準平面の意義を説明する。 2Ea③仮想咬合平面の設定法を説明する。 2Eb①フェイスボウトランスファーの意義を説明する。 2Ec①垂直的顎間関係の決定法を列挙する。 2Ed①水平的顎間関係の決定法を列挙する。 2Ee①標示線を説明する。 2Fa①咬合器の種類を列挙する。 2Fa②模型の装着法を説明する。 2Fa③顎路調節の原理を説明する。 2Fb①下顎位を説明する。 2Fb②下顎頭と切歯点の運動を関連づけて説明する。 2Fb③下顎運動の測定法を説明する。	授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、EE-1-1①～⑥、E-2-1③⑥、E-2-2①～⑥、E-2-3④、E-2-4-(4)①、E-3-4-(2)①～⑧

<p>全部床-4</p>	<p>西山雄一郎・鈴木銀河</p>	<p>2各論</p>	<p>21人工歯排列 2Jろう義歯 2K埋没、重合、研磨 2L咬合器再装着と削合 2M義歯の装着 2N装着後の経過観察 20術後管理 2P特殊な義歯</p>	<p>21a人工歯の種類と材料 21b選択基準 21c排列基準 21d咬合様式 2Ja試適時の検査項目 2Ka埋没法・重合法・研磨法 2Laスプリットキャスト法 2Lbテンチのコア法 2Lc選択削合・自動削合 2Ma形態、機能の調整 2Mb各種指導 2Na治療効果の評価 2Nb装着後の変化 20a義歯修理 20bリライン 20cリベース 2Pa金属床義歯 2Pbオーバーデンチャー 2Pc顎義歯 2Pd鼻咽腔補綴装置 2Pe舌接触補助床</p>	<p>21a①人工歯の種類と材料について説明する。 21b①人工歯の選択基準を説明する。 21c①排列基準を説明する。 21d①各種咬合様式を説明する。 2Ja①試適時の検査内容を列挙し説明する。 2Ka①埋没・重合・研磨法を説明する。 2La①スプリットキャスト法を説明する。 2Lb①テンチのコア法を説明する。 2Lc①人工歯の削合法を説明する。 2Ma①義歯装着時の調整法を説明する。 2Mb①患者指導を説明する。 2Na①治療効果の評価法を説明する。 2Nb①装着後の変化と対応法を説明する。 20a①義歯修理法を説明する。 20b①リラインの適応と方法を説明する。 20c①リベースについて説明する。 2Pa①金属床義歯について説明する。 2Pb②オーバーデンチャーの特徴を説明する。 2Pc①顎義歯による治療概要と構成を説明する。 2Pd①鼻咽腔補綴装置について説明する。 2Pe①舌接触補助床について説明する。</p>	<p>授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、E-2-1)③⑥、E-2-2)①～⑥、E-2-3)④、E-2-4)-(4)①、E-3-4)-(2)②③⑨～⑭</p>
<p>全部床-5</p>	<p>西山雄一郎・鈴木銀河</p>	<p>2各論</p>	<p>21人工歯排列 2Jろう義歯 2K埋没、重合、研磨 2L咬合器再装着と削合 2M義歯の装着 2N装着後の経過観察 20術後管理 2P特殊な義歯</p>	<p>21a人工歯の種類と材料 21b選択基準 21c排列基準 21d咬合様式 2Ja試適時の検査項目 2Ka埋没法・重合法・研磨法 2Laスプリットキャスト法 2Lbテンチのコア法 2Lc選択削合・自動削合 2Ma形態、機能の調整 2Mb各種指導 2Na治療効果の評価 2Nb装着後の変化 20a義歯修理 20bリライン 20cリベース 2Pa金属床義歯 2Pbオーバーデンチャー 2Pc顎義歯 2Pd鼻咽腔補綴装置 2Pe舌接触補助床</p>	<p>21a①人工歯の種類と材料について説明する。 21b①人工歯の選択基準を説明する。 21c①排列基準を説明する。 21d①各種咬合様式を説明する。 2Ja①試適時の検査内容を列挙し説明する。 2Ka①埋没・重合・研磨法を説明する。 2La①スプリットキャスト法を説明する。 2Lb①テンチのコア法を説明する。 2Lc①人工歯の削合法を説明する。 2Ma①義歯装着時の調整法を説明する。 2Mb①患者指導を説明する。 2Na①治療効果の評価法を説明する。 2Nb①装着後の変化と対応法を説明する。 20a①義歯修理法を説明する。 20b①リラインの適応と方法を説明する。 20c①リベースについて説明する。 2Pa①金属床義歯について説明する。 2Pb②オーバーデンチャーの特徴を説明する。 2Pc①顎義歯による治療概要と構成を説明する。 2Pd①鼻咽腔補綴装置について説明する。 2Pe①舌接触補助床について説明する。</p>	<p>授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、E-2-1)③⑥、E-2-2)①～⑥、E-2-3)④、E-2-4)-(4)①、E-3-4)-(2)②③⑨～⑭</p>
<p>全部床-6</p>	<p>西山雄一郎・鈴木銀河</p>	<p>2各論</p>	<p>21人工歯排列 2Jろう義歯 2K埋没、重合、研磨 2L咬合器再装着と削合 2M義歯の装着 2N装着後の経過観察 20術後管理 2P特殊な義歯</p>	<p>21a人工歯の種類と材料 21b選択基準 21c排列基準 21d咬合様式 2Ja試適時の検査項目 2Ka埋没法・重合法・研磨法 2Laスプリットキャスト法 2Lbテンチのコア法 2Lc選択削合・自動削合 2Ma形態、機能の調整 2Mb各種指導 2Na治療効果の評価 2Nb装着後の変化 20a義歯修理 20bリライン 20cリベース 2Pa金属床義歯 2Pbオーバーデンチャー 2Pc顎義歯 2Pd鼻咽腔補綴装置 2Pe舌接触補助床</p>	<p>21a①人工歯の種類と材料について説明する。 21b①人工歯の選択基準を説明する。 21c①排列基準を説明する。 21d①各種咬合様式を説明する。 2Ja①試適時の検査内容を列挙し説明する。 2Ka①埋没・重合・研磨法を説明する。 2La①スプリットキャスト法を説明する。 2Lb①テンチのコア法を説明する。 2Lc①人工歯の削合法を説明する。 2Ma①義歯装着時の調整法を説明する。 2Mb①患者指導を説明する。 2Na①治療効果の評価法を説明する。 2Nb①装着後の変化と対応法を説明する。 20a①義歯修理法を説明する。 20b①リラインの適応と方法を説明する。 20c①リベースについて説明する。 2Pa①金属床義歯について説明する。 2Pb②オーバーデンチャーの特徴を説明する。 2Pc①顎義歯による治療概要と構成を説明する。 2Pd①鼻咽腔補綴装置について説明する。 2Pe①舌接触補助床について説明する。</p>	<p>授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。 manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、E-2-1)③⑥、E-2-2)①～⑥、E-2-3)④、E-2-4)-(4)①、E-3-4)-(2)②③⑨～⑭</p>

全部床-7	西山雄一郎・鈴木銀河	2各論	2I人工歯排列 2Jろう義歯 2K埋没、重合、研磨 2L咬合器再装着と削合 2M義歯の装着 2N装着後の経過観察 2O術後管理 2P特殊な義歯	2Ia人工歯の種類と材料 2Ib選択基準 2Ic排列基準 2Id咬合様式 2Ja試適時の検査項目 2Ka埋没法・重合法・研磨法 2Laスプリットキャスト法 2Lbテンチのコア法 2Lc選択削合・自動削合 2Ma形態、機能の調整 2Mb各種指導 2Na治療効果の評価 2Nb装着後の変化 2Oa義歯修理 2Obリライン 2Ocリベース 2Pa金属床義歯 2Pbオーバーデンチャー 2Pc顎義歯 2Pd鼻腔補綴装置 2Pe舌接触補助床	2Ia①人工歯の種類と材料について説明する。 2Ib①人工歯の選択基準を説明する。 2Ic①排列基準を説明する。 2Id①各種咬合様式を説明する。 2Ja①試適時の検査内容を列挙し説明する。 2Ka①埋没・重合・研磨法を説明する。 2La①スプリットキャスト法を説明する。 2Lb①テンチのコア法を説明する。 2Lc①人工歯の削合法を説明する。 2Ma①義歯装着時の調整法を説明する。 2Mb①患者指導を説明する。 2Na①治療効果の評価法を説明する。 2Nb①装着後の変化と対応法を説明する。 2Oa①義歯修理法を説明する。 2Ob①リラインの適応と方法を説明する。 2Oc①リベースについて説明する。 2Pa①金属床義歯について説明する。 2Pb②オーバーデンチャーの特徴を説明する。 2Pc①顎義歯による治療概要と構成を説明する。 2Pd①鼻腔補綴装置について説明する。 2Pe①舌接触補助床について説明する。	授業の理解を深めるため、必ず予習・復習すること。manabaに掲載されているスライドおよび授業中に配布した資料を参考にして理解を深める。 A-3①～⑥、D-1①～③、D-2②、E-2-1)③⑥、E-2-2)①～⑥、E-2-3)④、E-2-4)-④①、E-3-4)-(2)②③⑨～⑭
-------	------------	-----	--	---	--	---

コーディネータあるいは責任教員：

指導教員： 西山雄一郎、米山喜一、鈴木銀河

- 参考書：
- ①「無歯顎補綴治療学 第3版」市川哲雄、大川周治、細井紀雄ほか 編。医歯薬出版株式会社。2016年。
  - ②「歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学 第2版」西山雄一郎。医歯薬出版株式会社。2022年。
  - ③「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」細井紀雄、平井敏博、長岡英一ほか 編。医歯薬出版株式会社。2011年。
  - ④「全部床義歯補綴学テキスト」有床義歯補綴学講座 編。2019年。

備考：

# 総合歯科医学5 (部分床義歯補綴学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床-1	新保秀仁	1. 総論 2. 支台装置	1A. 欠損による分類 2A. 支台装置の構造、種類	1a. 残存歯と欠損の位置関係による分類 1b. 咬合支持域の分類 2a. レスト 2b. クラスプ	1①Kennedyの分類を説明する。 1②Eichnerの分類を説明する。 1③義歯の種類と適応症を説明する。 2①可撤性支台装置を説明する。 2②所要条件と設計の基本を説明する。 2③支台装置を分類する。	E-3-4)-(2)-①~⑤部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。
部分床-2	新保秀仁	3. 連結装置	3A. 意義と役割 3B. 設計の所要条件 3C. 種類	3a. 大連結子 3b. 小連結子	3①連結装置の概念を説明する。 3②意義と役割を説明する。 3③設計の所要条件を列挙する。 3④種類と適応症を説明する。 3⑤大連結子を説明する。 3⑥小連結子を説明する。	E-3-4)-(2)-④⑤部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。
部分床-3	新保秀仁	4. 診査 5. 設計 6. 前処置	4A. 部分床義歯の製作工程 4B. 診察と検査 4C. 治療計画を左右する因子 5A. 設計 6A. 広義の前処置 6B. 支台歯の前処置	4a. 欠損補綴の主要な診察・検査項目 5a. 支台間線	4①部分床義歯の製作工程を説明する。 4②欠損補綴の主要な診察・検査項目を列挙する。 4③治療計画を左右する因子を列挙する。 5①支台間線について説明する。 6①前処置の意義を説明する。 6②ガイドプレーン形成の目的を説明する。 6③レストシートの形成の目的を説明する。 6④歯冠形態修正の目的を説明する。	E-3-4)-(2)-①~⑤部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。
部分床-4	新保秀仁	7. 印象採得 8. 顎間関係の記録 9. サベイング	7A. 印象の種類 7B. 印象の目的 7C. 部分床義歯の印象法 8A. 咬合床 8B. 咬合採得の種類 9A. サベイヤの構造と用具 9B. サベイングに関連する用語	7a. 被圧変位性 7b. オルタードキャストテクニック 7c. 個人トレー 8a. 基礎床 8b. 咬合堤 9a. サベイング	7①印象の種類を説明する。 7②部分床義歯印象の特殊性を説明する。 7③個人トレーの利点を説明する。 7④オルタードキャストテクニックについて説明する。 8①咬合床の目的を列挙する。 8②歯列、対向関係による咬合採得の種類を説明する。 8③咬合採得の注意点を説明する。 9①サベイングに関連する用語を説明する。	E-3-4)-(2)-④~⑥⑪⑫部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。
部分床-5	新保秀仁	10. 製作 11. 試適と装着	10A. レジン床義歯の製作 10B. 金属床義歯の製作 11A. 試適 11B. 義歯の装着	10a. 金属床義歯の構造 10b. フレームワークの製作 11a. フレームワークの試適 11b. 装着の手順 11c. 部分床義歯に与える咬合	10①金属床義歯の構造を説明する。 10②金属床義歯各部の名称を説明する。 10③フレームワークの製法を説明する。 11①試適時の確認事項を説明する。 11②義歯装着の手順を説明する。 11③部分床義歯に与える咬合を説明する。	E-3-4)-(2)-④⑥⑨~⑬部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。
部分床-6	新保秀仁	12. 装着後の管理 13. 機能評価	12A. 義歯装着後の経過観察 12B. 長期経過後の問題 12C. 義歯の修理とリライン 13A. 機能評価の方法	12a. 義歯装着後の不快感事項 12b. 適合性検査 12c. 長期経過後の変化 12d. 粘膜の病的変化 12e. 定期検診 12f. 義歯修理の種類と方法 12g. リベース 12h. リライン 13a. 客観的評価 13b. 主観的評価	12①義歯装着後に起こりやすい不快感事項を説明する。 12②褥瘡性潰瘍を生じやすい部位を列挙する。 12③適合性検査について説明する。 12④長期経過後の変化について説明する。 12⑤粘膜の病的変化を説明する。 12⑥定期検診の重要性を説明する。 12⑦粘膜の病的変化を説明する。 13①義歯装着者の客観的、主観的評価方法を説明する。	E-3-4)-(2)-①⑩~⑭部分床義歯補綴学講義ノートにて予習し、講義に含まれた国家試験問題に関してAnswerで復習すること。

コーディネーターあるいは責任教員:

指導教員: 新保秀仁

参考書:  
 1) 「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 第4版」 藍 稔、五十嵐順正、山下秀一郎  
 2) 「歯科補綴学専門用語集 第6版」 日本補綴歯科学会 編 医歯薬出版 2023年  
 3) 「パーシャルデンチャー実習アトラス」 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座編 2024年

備考:

# 総合歯科医学5 (クラウンブリッジ補綴学)

授業日  
程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br-1	重本修伺	1. 総論	1A クラウンブリッジ補綴学の意義と目的 1B 咬合・咀嚼障害 1C クラウンブリッジの要件 1D クラウンの種類	1Da 各種被覆冠	1A①クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を理解する。 1A②クラウンブリッジ補綴学の目的を理解する。 1B①咬合・咀嚼障害の病因と病態を理解する。 1C①クラウンブリッジ補綴学の要件を理解する。 1D①クラウンの種類と、それぞれの特徴を理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第1章 I, III, VI, VII の予習 E-2-2)-④ E-3-2)-① E-3-3)-(1)-① E-3-3)-(3)-②~④ E-3-4)-(1)-①② E-3-4)-(2)-①
Cr-Br-2	重本修伺	2. 臨床操作	2A 診察と診断 2B 治療計画 2C インフォームドコンセント 2D 前処置  2E 支台歯形成 2F 支台築造  2G 顎関節症患者における補綴歯科治療 2H オーラルアプライアンス		2A① クラウンブリッジ補綴に必要な検査、評価、診断を理解する。  2B① クラウンブリッジの治療計画を理解する。 2C① インフォームド・コンセントを理解する。 2D① クラウンブリッジ診療の前処置の意義、種類、内容を理解する。  2E①支台歯形態について理解する。  2E②支台歯形成の方法を理解する。 2F①支台築造の臨床的意義を理解する。 2F②支台築造の種類と、それぞれの適応症と製作法を理解する。  2G① 顎関節症患者の補綴治療を理解する。 2H① オーラルアプライアンスについて理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第1章IV, 第2章 I, II, III, IV, 第5章 I, 第6章 VII, 第8章, 第9章の予習 A-3-④ D-1-①③ D-2-② E-1-1)-⑧ E-2-4)-(7)-①② E-2-4)-(11)-①~③⑥ E-3-2)-① E-3-3)-(1)-① E-3-3)-(3)-②~④ E-3-4)-(1)-③④⑧
Cr-Br-3	重本修伺	3. 技工操作	3A CAD/CAMによる製作		3A① CAD/CAMによる補綴装置製作法を理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第4章の予習 D-1-①③ D-2-②
Cr-Br-4	重本修伺	4. 臨床操作	4A 印象採得 4B プロビジョナルレストレーション 4C 顎間関係の記録 4D 患者情報の伝達		4A①印象材の種類を理解する。 4A②印象法の種類をとそれぞれの特徴を理解する。 4B①意義と製作法を理解する。  4B②仮着材の種類と、それぞれの特徴を理解する。 4C①顎間関係の記録方法を理解する。 4C②咬合器の種類と調節法を理解する。 4D①口腔内情報を記録する意義を説明できる。 4D②口腔内情報の記録方法と伝達方法を説明できる。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第2章 III, IV, V, VI, VII, 第5章 I, 第6章の予習 A-6-3)-②③ D-1-①③ D-2-②③ E-1-1)-⑩ E-3-3)-(3)-②~④ E-3-4)-(1)-⑤~⑦⑧⑩
Cr-Br-5	重本修伺	5. 技工操作	5A ロストワックス法による製作	4Aa 模型 4Ab 技工操作	5Aa① 作業模型の種類と製作法を理解、修得する。  5Ab② ロストワックスによる製作法を理解、修得する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第3章 I, II, III, 第8章の予習 D-1-①③ D-2-② E-3-3)-(3)-②~④ E-3-4)-(1)-②⑨⑩ E-3-4)-(2)-⑦⑧
Cr-Br-6	重本修伺	6. 臨床操作	6A 高齢者・要介護者におけるクラウンブリッジ補綴		6A① 口腔機能低下症を説明できる。 6A② 治療時の注意事項を説明できる。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第7章の予習 E-5-1)-⑤⑥
Cr-Br-7	重本修伺	7. 各論	7A 歯冠補綴装置 7B ブリッジ	7Aa レジン前装冠 7Ab 陶材焼付冠 7Ac ハイブリッド型コンポジットレジン修復 7Ad オールセラミック修復  7Baブリッジの種類と構成 7Bb ブリッジの設計・製作	7Aa① レジン前装冠の適応症と製作方法について理解する。 7Ab① 陶材焼付冠の適応症と製作法について理解する。 7Ac① ハイブリッド型コンポジットレジンの適応症と製作方法について理解する。 7Ad① オールセラミックの適応症と製作法について理解する。  7Ba① ブリッジの種類と、それぞれの特徴を理解する。 7Ba② 連結法の種類について理解する。 7Ba③ 接着ブリッジについて理解する。  7Bb① ブリッジの設計を理解する。 7Bb② ろう付け法について理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第1章 VII, IX, 第6章 I, II, III, IV, V, VI の予習 D-2-③ E-3-4)-(11)-②⑧
Cr-Br-8	重本修伺	8. 臨床操作	8A 口腔内試適と装着		8A①口腔内試適と装着を理解、修得する。  8A②セメントの種類を列挙し、それぞれの特徴を理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第5章 I の予習 D-1-③ D-2-②③ E-3-4)-(1)-⑪



Cr-Br-9	重本修伺	9. 臨床操作	9A 術後管理 9B 装着後に発生する問題とその対応		9A① 術後管理の方法を理解する。 9B① 補綴装置装着後に発生する問題とその原因を理解する。  9B② 発生した問題の解決法を理解する。  9B③ 問題発生の予防法を理解する。	クラウンブリッジ補綴学 第6版 第5章 II, IIIの予習  D-1-①③ D-2-③ E-3-4-(1)-⑫ E-3-4-(3)-⑧
---------	------	---------	-------------------------------	--	--	--

コーディネータあるいは責任教員:

指導教員: 重本修伺

参考書: 「クラウンブリッジ補綴学」 矢谷博文ほか編 医歯薬出版 2023年 第6版

備考:

# 総合歯科医学5（口腔顎顔面外科学）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外-1	佐藤光一郎	口腔顎顔面疾患の手術	手術基本手技	1) 切開 2) 止血法 3) 縫合法 4) 抜歯	① 切開の基本を説明できる。 ② 止血法とその使い分けについて説明できる。 ③ 種々の縫合法とそれらの適応について説明できる。 ④ 抜歯と適応について説明できる。	授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-2-1) ⑤ E-1-5) ③～⑤
口外-2	佐藤光一郎	先天異常および顎変形症	1. 形成異常総論 各論 1. 歯の形態および歯列の異常とその臨床的意義 2. 顎顔面領域の形態異常を伴う各種症候群の診断と治療	1) 先天異常の概念 2) 先天異常の成因 1) 歯の形態異常 2) 歯数の異常 3) 歯列形態の異常 1) 列奇形以外の形成異常 2) 骨系統疾患・症候群	① 先天異常の概念、形成異常について説明できる。 ② 形成異常の成因、頻度について説明できる。 ③ 歯ならびに歯列の先天異常について説明できる。 ④ 列奇形以外の顎口腔領域の異常とそれぞれの病態治療法について説明できる。 ⑤ 顎口腔領域に症状を呈する形成異常を伴う症候群を挙げ、その病態を説明できる。	授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4) (1) ①、②、④ E-2-4) (10) ⑤
口外-3	江口貴紀	腫瘍および腫瘍類似疾患	1. 総論 2. 手術療法	1) 腫瘍の概念 2) 悪性腫瘍の疫学 3) 腫瘍の分類 4) 発癌(病因) 5) 良性腫瘍の手術 6) 悪性腫瘍の手術	① 良性腫瘍と悪性腫瘍(癌腫と肉腫)の概念について説明できる。 ② TNM分類について説明できる。 ③ 発癌因子と発がん機序の概念を説明できる。 ④ 腫瘍手術の概念と術式分類の定義について説明できる。	授業の理解を図るため、必ず予習と復習すること。ノート、配布プリント等を見直し、理解が不十分な場合は教科書(参考書)等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-4) -(6) ①～⑥
口外-4	江口貴紀	顎関節疾患	1. 顎関節の解剖と機能 2. 顎関節の炎症性病変 3. 顎関節の発育異常 4. 顎関節の腫瘍性病変 5. その他の顎関節疾患	1) 化膿性顎関節炎 2) ピロリン酸Ca結晶沈着症 3) リウマチ性顎関節炎 4) 下顎頭形成不全 5) 下顎頭肥大 6) 滑膜性骨軟骨腫症 7) 顎関節腫瘍 8) 顎関節損傷 9) 顎関節脱臼 10) 顎関節症 11) 顎関節強直症	① 顎関節の構造と機能を説明できる。 ② 顎関節疾患の検査法を説明できる。 ③ 各病変の診断、病態と治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、必ず予習と復習すること。ノート、配布プリント等を見直し、理解が不十分な場合は教科書(参考書)等を参照し補うこと。 E-2-4) -(11) ①、③
口外-5	佐藤光一郎 山田秀典	嚢胞および類似疾患	1. 顎骨に生じる嚢胞性疾患 2. 顎骨に発生する歯原性嚢胞 3. 顎骨に発生する非歯原性嚢胞と類似疾患 4. 軟組織に生じる嚢胞性疾患 5. 軟組織に発生する歯原性嚢胞 6. 軟組織に発生する非歯原性嚢胞	1) 歯根嚢胞 2) 含歯性嚢胞 3) 歯原性角化嚢胞 4) 石灰化嚢胞性歯原性嚢胞 5) 鼻口蓋管嚢胞 6) 術後性上顎嚢胞 7) 単純性骨嚢胞 8) 脈瘤性骨嚢胞 9) 静止性骨空洞 10) 萌出嚢胞 11) 歯肉嚢胞 12) 類皮嚢類表皮嚢胞 13) 鼻槽嚢嚢胞 14) 鰓嚢胞 15) 甲状舌管嚢胞 16) 唾液腺にかかわる嚢胞	① 顎口腔領域の嚢胞性疾患の特徴を説明できる。 ② 顎骨に発生する嚢胞の症状と分類を説明できる。 ③ 軟組織に発生する嚢胞の少女油と分類を説明できる。 ④ 各病変の診断、病態と治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-4) (6) ② E-2-4) (10) ④～⑥
口外-6	佐藤光一郎 山田秀典	損傷	総論	1) 原因 2) 分類 3) 病態 4) 損傷の治療過程 5) 治療法 6) 後遺症	① 損傷の原因について言及できる。 ② 損傷の原因等によって分類できる。 ③ 外傷の種類を説明できる。 ④ 創傷の治療過程について説明できる。 ⑤ 創傷治療の基本について説明できる。 ⑥ 後遺症の概念について説明できる。	授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1) ②～⑥ E-2-4) (2) ③、④

コーディネーターあるいは責任教員:

指導教員: 佐藤光一郎、江口貴紀、山田秀典、石塚忠利

参考書: 「口腔外科学 第5版」 榎本昭二・道健一・天笠光雄・小村健 医歯薬出版

「現代口腔外科学 原著第5版」 里村一人・濱田良樹 わかば出版

備考:

# 総合歯科医学5（口腔内科学）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	コア・カリ番号
口内-1	豊田長隆	1. 炎症性疾患	1A 総論 1B 各論	1Aa 菌性感染症 1Ba 軟組織の炎症 1Bb 歯槽骨・顎骨の炎症	1Aa①菌性感染症の起炎菌、波及経路、一般症候、検査所見について説明できる。 1Ba①智歯周囲炎、歯槽骨炎、上顎・下顎骨骨膜炎、頬・口底蜂窩織炎、菌性上顎洞炎、壊死性軟部組織感染症の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。 1Bb①顎骨髄炎、ガレー顎骨髄炎、硬化性顎骨骨髄炎、SAPHO症候群、放射線性骨壊死、薬剤関連顎骨壊死の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-4)①~⑦
口内-2	豊田長隆	1. 炎症性疾患 2. 口腔粘膜疾患	1B 各論 2A 総論 2B 各論	1Bc 肉芽腫性炎 1Bd 菌性全身感染症 2Aa 口腔粘膜の構造と機能 2Ab 皮疹・粘膜疹の基本病態 2Ba ウイルス性水疱性疾患	1Bc①口腔結核、頸部リンパ節結核、顎放線菌症、梅毒の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。 1Bd①菌血症、菌性病巣感染、感染性心内膜炎、敗血症、全身性炎症反応症候群の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。 2Aa①口腔粘膜の構造と機能、皮疹・粘膜疹の基本病態について説明できる。 2Ba①単純疱疹(疱疹性歯肉口内炎・口唇ヘルペス)、帯状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-4)①~⑦ E-2-2)② E-2-4)-(4)①② E-2-4)-(10)②③ ⑤⑦
口内-3	豊田長隆	2. 口腔粘膜疾患	2B 各論	2Bb 自己免疫性・先天性水疱疾患 2Bc 薬物アレルギー 2Bd 自己免疫異常 2Be 感染症 2Bf 白色の粘膜病変 2Bg 角化異常病変 2Bh 色素沈着性粘膜病変 2Bi その他の粘膜病変	2Bb~i①尋常性天疱瘡、類天疱瘡、多型滲出性紅斑、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死剥離症、全身性エリテマトーデス、慢性再発性アフタ、ペーチェット病、壊死性潰瘍性歯肉口内炎、口腔扁平苔癬、GVHD、口腔カンジダ症、白板症、紅板症、色素性母斑、Peutz-Jeghers症候群、Addison病、von Recklinghausen病、McCune-Albright症候群、口角炎、溝舌、黒毛舌、地図状舌、正中菱形舌炎、肉芽腫性口唇炎、金属アレルギー、Quincke浮腫の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-2)② E-2-4)-(4)①② E-2-4)-(10)②③ ⑤⑦
口内-4	豊田長隆	3. 唾液腺疾患	3A 総論 3B 各論	3Aa 唾液腺の解剖、唾液分泌機序、唾液の組成と機能 3Ab 唾液分泌能の検査 3Ba 発育異常 3Bb 唾液瘻 3Bc 口腔乾燥症 3Bd 流涎症 3Be 唾石症 3Bf 粘液嚢胞 3Bg 炎症性疾患	3Aa①唾液腺の解剖、唾液分泌機序、唾液の組成と機能、唾液腺分泌能の検査の概要を説明できる。 3Ba~g①唾液腺の発育異常、唾液瘻、口腔乾燥症、流涎症、唾石症、粘液嚢胞、急性唾液腺炎、慢性再発性耳下腺炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、ミクリッツ病の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-4)-(9)①~④ E-2-4)-(10)②③ ⑤ E-2-4)-(11)⑤
口内-5	豊田長隆	3. 唾液腺疾患 4. 神経疾患・心身医学的疾患	3B 各論 4A 総論 4B 各論	3Bh 良性腫瘍 3Bi 悪性腫瘍 3Bj 腫瘍類似疾患 4Aa 脳神経解剖 4Ba 疼痛性疾患	3Bh~j①多形腺腫、ワルチン腫瘍、粘表皮癌、腺様嚢胞癌、壊死性唾液腺化生の概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。 4Aa①各脳神経の走行・分布、分類、機能を説明できる。 4Ba①三叉・舌咽神経痛の概念と治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-4)-(9)①~④ E-2-4)-(10)②③ ⑤ E-2-4)-(11)⑤ E-2-2)⑩ E-2-4)-(9)①~④ E-5-3)①~⑤
口内-6	豊田長隆	4. 神経疾患・心身医学的疾患	4B 各論	4Bb 麻痺性疾患 4Bc 痙攣性疾患 4Bd 歯科心身症	4Bb①顔面・三叉・内耳・舌咽・迷走・副・舌下神経麻痺、三叉・顔面神経痙攣、オーラルディスキネジア、Frey症候群の概念と治療法について説明できる。 4Bd①心身相関の概念、心身医学的診断・治療法の概要を説明できる。 4Bd②口腔灼熱症候群、非定型歯痛・顔面痛、口腔異常症、歯科恐怖症の概念と治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-2-2)⑩ E-2-4)-(9)①~④ E-5-3)①~⑤
口内-7	豊田長隆	5. 臨床検査学	5A 総論 5B 各論	5Aa 検査の意義、基準値の解釈、検体検査の種類 5Ba 血液学検査 5Bb 血清免疫学検査 5Bc ホルモン 5Bd 腫瘍マーカー 5Be 尿検査	5Aa①検査の意義、基準値の解釈、検体検査の種類について説明できる。 5Ab~e①血球検査、凝固・線溶、血液型、輸血関連検査、血沈、炎症マーカー、自己抗体、血清学的診断、各種ホルモン、尿検査の概要、異常を呈する疾患を説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-1-3)①②④⑤
口内-8	豊田長隆	6. 血液疾患	1A 総論 2B 各論	1Aa 造血器官・機構 1Ab 血液の構成要素と血液細胞の機能 1Ac 止血・凝固・線溶系の機序 2Ba 赤血球の異常 2Bb 白血球の異常 2Bc 出血性素因	1Aa~c①造血器官・機構、血液の構成要素と血液細胞の機能、止血・凝固・線溶の機序の肺炎について説明できる。 2Ba~c①貧血(鉄欠乏性、再生不良性、巨赤芽球性、溶血性)、中球減少症、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、オスラー病、アレルギー性紫斑病、壊血病、ITP、血小板無力症、血友病、DICの概要、臨床病態、検査所見、治療法について説明できる。	シラバスを参照にし、参考書またはManaba掲載資料を基に予習すること。授業の理解を図るため、講義資料、参考書を用いて復習すること。	E-1-3)①②④⑤ E-2-4)-(10)①③ ⑤⑦⑨

指導教員: 豊田 長隆

参考書: 「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」 栗田賢一、覚道健治 永末書店・2016年・第4版  
 「最新 口腔外科学」 榎本昭二、道 健一、天笠光雄、小村 健 医歯薬出版・2017年・第5版  
 「口腔内科学」 山根源之、草間幹夫、久保田英明 永末書店・2020年・第2版

備 考: 講義前に資料をmanabaにアップロードし、それを用いて講義を行う。

## 総合歯科医学5（歯科矯正学）

**授業日程**

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正-1	関谷利子	顎顔面の成長発育	出生前後の成長発育・顔面頭蓋の成長発育 歯列の成長発育 口腔機能の発達	発生・胎生 脳頭蓋の成長 上顎骨の成長 下顎骨の成長 歯列と咬合の成長発育 嚙下の発達	①顔面の発生について説明できる。 ②脳頭蓋の成長について説明できる。 ③上顎骨の成長発育について説明できる。 ④下顎骨の成長発育について説明できる。 ⑤歯列の成長について説明できる。 ⑥嚙下の発達と障害を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 C-3-2)①③④、C-3-4)-(2)④、E-2-1)②、E-2-3)①②、E-3-1)①
矯正-2	関谷利子	咬合	咬合概論 下顎運動	咬合位 顎運動 咀嚼周期	①顎頭位と咬合位を説明できる。 ②顎運動について説明できる。 ③咀嚼サイクルを説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-1-2)④、A-1-3)②、B-4-1)①④、E-1-1)①③⑥~⑧、E-1-2)⑥~⑧、E-1-3)①②、E-2-1)③⑥、E-2-2)④、E-2-3)③、E-2-4)-(1)①②④、E-3-1)③、E-4-1)②③⑥、E-4-2)⑩
		正常咬合と不正咬合	正常咬合 不正咬合 不正咬合の分類	正常咬合の定義 正常咬合の条件 正常咬合の考え方 個々の歯の異常 歯列弓形態の異常 上下顎関係の異常 先天異常による咬合異常 Angle分類	①正常咬合の概念を述べる。 ②正常咬合の成立と保持条件を列挙できる。 ③不正咬合による障害を列挙する。 ④Angle分類を説明できる。	
		不正咬合の原因	先天的 後天的	全身的 局所的	①不正咬合の原因を説明できる。	
		矯正力による生体反応	歯の移動と生力学応	歯根膜の反応	①組織学的変化について説明できる。	
		不正咬合の診査、症例分析 診断①	形態的検査 機能的検査 不正咬合の特徴	顔面所見 口腔内所見 模型分析 頭部エックス線規格写真分析	①不正咬合の診査に必要な項目を列挙できる。 ②各不正咬合における顔面・口腔内所見を説明できる。 ③模型分析の項目とその意味を理解できる。 ④頭部エックス線規格写真の分析法を理解し、分析結果から症例の特徴を把握できる。	
矯正-3	及川 崇	診断②	不正咬合の診断	顔面写真、口腔内写真 頭部エックス線規格写真分析	①検査、分析結果から不正咬合を的確に診断することができる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-3③、E-1-1)①③⑥~⑧、E-1-2)⑥~⑧、E-1-3)①②、E-4-1)①~⑤
		矯正治療における抜歯	抜歯の意義	抜歯の目的・適応症 抜歯の決定法 連続抜去法 抜歯の長所と短所 Tweedの抜歯基準	①矯正治療における抜歯の必要性を説明できる。 ②ヘッドプレートコレクションとトータルディスクレパンシーを算出できる。	
		矯正治療における固定	固定の定義と種類	部位による種類 抵抗の性質による分類 抜歯空隙利用のための固定の種類	①矯正治療における固定の定義と種類について説明できる。	
矯正-4	及川 崇	矯正用材料・器具器材と矯正装置	矯正材料と器具器材 矯正装置とその使用法	金属材料 プラスチック材料 矯正力と整形力 顎外固定装置 機能的矯正装置 舌側弧線装置 マルチブラケット装置 その他の装置	①矯正治療に必要な器具・器材について説明できる。 ②矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-4-1)④⑤
矯正-5	菅崎弘幸	不正咬合の治療①	各種不正咬合の治療法	乳歯列期・混合歯列期の治療法 口腔筋機能療法 永久歯列期の治療法	①乳歯列期の不正咬合の治療法について説明できる。 ②混合歯列期の不正咬合の治療法について説明できる。 ③不正咬合を診断し、治療法及び矯正装置を正しく選択できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2)①③、D-2④、E-2-4)-(1)②③、E-4-1)①③~⑤⑦、E-4-2)⑧⑨⑩
矯正-6	菅崎弘幸	不正咬合の治療②保定	各種不正咬合の治療法 保定の定義と種類	外科的矯正治療法 自然的保定 器械的保定	①外科的矯正治療法を説明できる。 ②不正咬合を診断し、治療法及び矯正装置を正しく選択できる。 ③保定の定義と保定装置の使途について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-2-4)-(1)②③、E-4-1)③~⑤⑦、E-4-2)⑧⑨⑩

コーディネータあるいは責任教員：関谷利子

指導教員：菅崎弘幸、関谷利子、及川 崇

参考書： 「歯科矯正学 第6版」 飯田順一郎 他 医歯薬出版株式会社  
 「第3版 新しい歯科矯正学」 石川博之 他 永末書店  
 「歯科矯正学模型実習書」 鶴見大学歯科矯正学講座 編集  
 「歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学」 清水典佳 他 医歯薬出版

備考：

# 総合歯科医学5 (小児歯科学)

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児-1	守安克也	1小児の成長発育 2頭蓋顎顔面の発育	1A身体発育 1B身体発育の特徴 1C小児の発達の特徴 1D小児の生理的特徴 1E口腔機能の発達 2A頭蓋顎顔面の発育	1Aa小児期の分類 1Ba生理的年齢 1Bb出生時および出生後の発育 1Bc各器官の発育 1Ca運動機能の発達 1Cb言語の発達 1Cc情動の発達 1Da原始反射 1Db生理的特徴 2Aa脳頭蓋の発育 2Ab顎・顔面の発育	1Aa①小児期の分類を列挙する。 1Ba①生理的年齢を説明する。 1Bb①小児の身体発育を説明する。 1Bc①各器官の発育の特徴を説明する。 1Ca①小児の運動機能の発達について説明する。 1Cb①小児の言語の発達過程を説明する。 1Cc①小児の精神的発達の特徴を説明する。 1Da①代表的な原始反射について説明する。 1Db①小児の生理的特徴を説明する。 2Aa①脳頭蓋顎顔面の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  C-3-2)①,③,④ E-2-3)②,③
小児-2	守安克也	1歯の発育と異常 2歯列・咬合の発育と異常	1A歯の発育 1B歯の萌出 2A歯列・咬合の発育	1Aa歯の形成 1Ba歯の発育段階 1Bb歯の萌出 1Bc吸収と脱落 2Aa無歯期 2Ab乳歯列期 2Ac第一大臼歯・切歯萌出期 2Ad側方歯萌出期 2Ae第二大臼歯萌出開始期 2Af乳歯列期から永久歯列期への咬合変化	1Aa①正常な歯の形成過程を説明する。 1Bb①正常な歯の萌出時期を述べる。 1Bc①歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。 2A①正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 2A②咬合発育段階とその特徴について述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-3-1)③
小児-3	守安克也	1歯の発育と異常	1A歯の発育と異常	1Aa歯の形成障害 1Ab歯数の異常 1Ac構造の異常 1Ad形態の異常	1Aa①歯の形成障害の原因について説明する。 1Ab①歯数の異常に関連する疾患を列挙し、その特徴を説明する。 1Ac①構造の異常を伴う疾患を列挙し、その特徴を説明する。 1Ad①形態異常を列挙し、その特徴を説明する。 1Ae①色調の異常の原因を説明する。 1Af①萌出時期の異常の原因とその対応法を説明する。 1Ag①萌出量の異常の原因とその対応を説明する。 1Ah①萌出方向の異常の原因とその対応を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-3-1)① E-2-4)-(1)①
小児-4	守安克也	1齲蝕治療	1A乳歯の齲蝕修復 1B幼若永久歯の齲蝕修復 1Ac全部被覆冠 2A乳歯および幼若永久歯の歯内療法	1Aa乳歯齲蝕の診察・診断 1Ab成形充填 1Ac全部被覆冠 1Ba幼若永久歯の齲蝕修復法 2Aa診察・診断 2Ab齲蝕の臨床的分類 2Ac齲蝕の処置 2Ad根尖性歯周炎の臨床的分類 2Ae根尖性歯周炎の処置	1A①乳歯の齲蝕修復の適応と術式を述べる。 1B①幼若永久歯の齲蝕修復の適応と術式を述べる。 2A①乳歯の齲蝕疾患の特徴と処置を説明する。 2A②乳歯の歯内療法の術式を説明する。 2A③幼若永久歯の齲蝕疾患の特徴と処置を説明する。 2A④幼若永久歯の歯内療法の術式を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)③
小児-5	守安克也	1歯の外傷と処置	1A歯の外傷 1B歯の外傷の処置 1Cその他の外傷	1Aa診察・検査・診断 1Ba破折・脱臼 1Bb受傷歯の固定 1Bc再植法 1Caスポーツ外傷 1Cb児童虐待による外傷	1A①乳歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 1A②幼若永久歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 1B①小児の歯の外傷の処置法を列挙し説明する。 1Ca①スポーツ外傷の臨床的特徴を説明する。 1Cb①虐待による外傷の特徴について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑦
小児-6	守安克也	1咬合誘導	1A咬合誘導法	1Aa①静的(受動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1Aa②静的(受動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。 1Ba動的(能動的)咬合誘導 1Bb口腔習癖と処置	1Aa①静的(受動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1Aa②静的(受動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。 1Ba①動的(能動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1Ba②動的(能動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。 2Ab①口腔習癖の種類と歯科的問題について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑧,⑨,⑫

指導教員: 守安克也

参考書: 小児の口腔科学 第5版  
ISBN: ISBN: 978-4-7624-4646-7

備考: 授業プリントを配布し、それを用いたスライド中心の講義を行う。

## 総合歯科医学5 (口腔顎顔面放射線画像診断学)

**授業日程**

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
放射線-1	伊東宏和	画像検査	ア.放射線の基礎 イ.放射線の防護・管理 ウ.放射線被曝の防護と管理 エ.医療情報	a.放射線の種類・性質・作用・影響 b.放射線防護の概念 c.医療画像システム	放射線の種類の分類ができる 放射線の作用・性質・影響が説明できる 放射線の発生・原理・装置を説明できる 放射線の単位について説明できる 防護の三原則を説明できる デジタル画像システムを説明できる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。E-1-2) ①②③④
放射線-2	伊東宏和	画像検査	オ.エックス線撮影の基礎 カ.エックス線単純撮影	d.口内法エックス線撮(種類と方法、検査の適応) e.口内法エックス線画像診断 f.口外法エックス線撮影法と診断	エックス線の投影法を説明できる 口内法エックス線撮影法について説明できる 顎頰・歯周病・根尖病変の診断基準を説明できる パノラマエックス線検査・顎頭面頭蓋部エックス線検査の原理・適応が説明できる 悪性腫瘍・良性腫瘍・嚢胞・炎症の診断基準が説明できる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料の一部は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。E-1-2) ⑤⑥⑦⑧
放射線-3	伊東宏和	画像検査	キ.特殊検査法	g.特殊検査(CT,CBCT,MRI,US) h.造影検査(造影剤と副作用) i.シンチグラフィ	特殊検査の原理・適応・診断ができる 検査に用いる薬剤について説明できる 画像の正常解剖を説明できる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料の一部は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。E-1-2) ⑨
放射線-4	伊東宏和	放射線治療	ク.放射線治療の基礎と適応	j.外部照射(IMRT, IGRT, SRT, SRS, 粒子線治療) k.内部照射 l.放射線感受性 m.生物学的効果 n.治療の影響	外部照射が説明できる 加速器について説明できる 内部照射の方法と適応を説明できる 使用放射線同位元素の説明ができる 放射線治療の影響が説明できる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料の一部は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。E-2-4)-(6) ③
放射線-5	伊東宏和	画像診断	ケ.画像診断・鑑別診断	o.頭頸部領域の正常像と病的像(1)	頭頸部領域の正常像の説明ができる 病的像の診断基準が説明できる 画像診断ができる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料の一部は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。 E-2-4)-(3) ③ E-2-4)-(5) ②  E-2-4)-(6) ②③ 4)-(7) ② E-2-4)-(8) ②③④⑦
放射線-6	伊東宏和	画像診断	ケ.画像診断・鑑別診断	p.頭頸部領域の正常像と病的像(2)	頭頸部領域の正常像の説明ができる 病的像の診断基準が説明できる 画像診断ができる	教科書「歯科放射線学第6版」および今までの講義ノートで予習する。今回の講義内容の殆どは復習内容である。故に、予習を通して十分な理解に至る講義内容である。今回の講義に配布資料はないが、新たに書き込む資料の一部は手引に収載済みである。講義時はスライドを使用するので一部の図や写真は教科書から転載した。 E-2-4)-(3) ③ E-2-4)-(5) ② E-2-4)-(6) ②③ E-2-4)-(7) ② E-2-4)-(8) ②③④⑦

コーディネータあるいは責任教員:

指導教員: 伊東宏和, 五十嵐千浪

参考書: 歯科放射線学第6版, 岡野友宏・小林馨・有地榮一郎, 医歯薬出版株式会社, 2018年2月.

備考:

## 総合歯科医学5（歯科麻酔学）

**授業日程**

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
麻酔-1	河端和音	局所麻酔法	局所麻酔法	局所麻酔薬の目的と機序 各種局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔の合併症	①局所麻酔薬の目的や機序を説明する。 ②各種局所麻酔薬を説明する。 ③血管収縮薬を説明する。 ④局所麻酔の合併症を説明する。	E-1-4)-(3)①-⑤
麻酔-2	河端和音	全身状態評価 精神鎮静法	全身状態評価 精神鎮静法	バイタルサイン 亜酸化窒素吸入鎮静法 静脈内鎮静法	①バイタルサインを説明する。 ②亜酸化窒素吸入鎮静法を説明する。 ③静脈内鎮静法を説明する。	E-1-4)-(1)①-③ E-1-4)-(2)①-④
麻酔-3	河端和音	全身麻酔法	全身麻酔法	吸入麻酔薬 静脈麻酔薬 筋弛緩薬	①吸入麻酔薬を説明する。 ②静脈麻酔薬を説明する。 ③筋弛緩薬を説明する。	E-1-4)-(4)①-③
麻酔-4	河端和音	全身状態評価	全身状態評価	全身の症候 検体検査の種類 基準値と結果の解釈 生体監視モニタ	①全身の症候 ②検体検査の種類 ③基準値と結果の解釈 ④生体監視モニタ	E-1-3)-(4)①-⑤ E-1-4)-(1)①-⑥
麻酔-5	河端和音	初期救急 蘇生法 全身的偶発症	一次救命処置 心電図 蘇生法 全身的偶発症	BLS 心電図（不整脈） 全身的偶発症 偶発症・救命処置	①救急処置の基本を説明する。 ②BLSの手順や有用性を説明する。 ③基本的な不整脈を判断できる。 ④全身的偶発症を説明する。	E-1-6)①-③
麻酔-6	河端和音	ペインクリニック	ペインクリニック	顎顔面領域の疼痛性疾患 顎顔面領域の麻痺性疾患	①顎顔面領域の疼痛性疾患の種類・病態・診断・処置について説明する。 ②顎顔面領域の麻痺性疾患の種類・病態・診断・処置について説明する。	E-2-4)-(9)①-④

指導教員： 河端和音

参考書： 歯科麻酔学 第8版 医歯薬出版

備考： プリント配布あり。スライドと板書を中心にすすめる。

# 総合歯科医学5（高齢者歯科学）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者-1	菅 武雄	1. 総論 2. 多職種連携・チーム医療	1) オリエンテーション 2) 多職種連携・チーム医療	1)-① 歯科医師国家試験までに高齢者歯科学分野で学ぶ項目 1)-② 歯科医師国家試験での高齢者歯科学の位置付け 1)-③ 歯科医師国家試験における高齢者歯科学の出題範囲と出題傾向（トレンドと予想） 2)-① 連携すべき他職種 2)-② チーム形態 2)-③ NSTとミールラウンド	1) 最終目標である歯科医師国家試験に向けた心構えと自覚を促す。 2) 連携すべき職種を列挙する。 3) チーム形態を列挙し、リハビリテーションにもっとも適したチーム形態を説明する。 4) チーム活動としての NST とミールラウンドを説明する。	【予習】これまでの系統講義内容を見直す。 【復習】歯科医師国家試験までに学習しなければならない全範囲を俯瞰し、その広さと深さを自覚し、現在の勉強方法が最適かどうかを検討する。 【コアカリ】 A-2-2), A-5-1), E-5-1)-⑨⑩
高齢者-2	赤松那保	1. 制度 2. 日常生活自立度 (ADL)	1) 統計 2) 我が国の社会保障制度	1-1) 社会福祉制度 2-1) 日常生活自立度 (ADL)	1) 超高齢社会を説明するための統計の活用を説明する。 2) 高齢者に関わる社会保障制度を列挙する。	これまでの系統講義内容を見直す。 【コアカリ】 B-2-2)-④, ⑧
高齢者-3	菅 武雄	1. 栄養 2. 口腔健康管理	1) 栄養アセスメント 2) 栄養スクリーニング 3) 栄養方法 4) 口腔衛生管理 5) 口腔機能管理	1)-① 栄養アセスメント方法、栄養スクリーニング方法 栄養投与ルートの決定方法 1)-② 栄養摂取量の算定方法・推定方法 1)-③ 食事箋 2)-① 口腔衛生管理の概念 2)-② 口腔衛生確保のための技術 3)-① 口腔機能の種類 3)-② 口腔機能の測定	1) 栄養アセスメント方法を列挙する。 2) 栄養スクリーニング方法を説明する。 3) 栄養投与ルートの決定方法を説明する。 4) 必要栄養摂取量の算定方法を説明する。 5) 食事箋の内容を説明する。 6) 口腔衛生管理について説明する。 7) 口腔機能管理について説明する。	【予習】基礎栄養について再学習する。 【復習】①必要栄養量の算定に関する要素を学んでおく。 ②食事箋に歯科が関わる部分を考える。③口腔健康管理の介助介入方法について調べておく。 【コアカリ】 E-5-1)-④, ⑩,
高齢者-4	赤松那保	1. 認知症 2. 口腔機能低下症	1) 認知症の原因・種類 2) 認知症の評価・検査方法 3) 認知症の症状 4) 認知症患者さんへの対応 5) フレイル 6) サルコペニア 7) 口腔機能低下症	1)-① 認知症の原因疾患 1)-② 認知症の種類 2)-① 認知症の評価方法・検査方法 3)-① 認知症の中核症状 3)-② 認知症のBPSD 4)-① 認知症患者さんの医療面接 4)-② 認知症患者さんの歯科治療 5)-① フレイルの概念・定義 5)-② フレイルの診断 5)-③ オーラルフレイル 6)-① サルコペニアの概念・定義 6)-② サルコペニアの診断 7)-① 口腔機能低下症の概念 7)-② 口腔機能低下症の7つの下位症状 7)-③ 口腔機能低下症の検査	1) 認知症の原因疾患を列挙する。 2) 認知症の種類を説明する。 3) 認知症の評価方法を説明する。 4) 認知症の検査方法を説明する。 5) 認知症の中核症状を説明する。 6) 認知症のBPSDを説明する。 7) 認知症患者さんの医療面接における注意事項を説明する。 8) 認知症患者さんの歯科治療の注意点を列挙する。 9) フレイルの概念を説明する。 10) フレイルの定義を説明する。 11) フレイルの診断方法を説明する。 12) オーラルフレイルを説明する。 13) サルコペニアの概念と定義を説明する。 14) サルコペニアの診断方法を説明する。 15) 口腔機能低下症の概念を説明する。 16) 口腔機能低下症の7つの下位症状を列挙する。 17) 口腔機能低下症の検査を説明する。	【予習】系統講義の内容を再学習しておく。 【復習】①認知症については、繰り返し資料を読み直す。②フレイル・サルコペニア・口腔機能低下症は歯科医師国家試験の「山」なので、繰り返し学習する。 【コアカリ】 E-5-1)-①, ②, ③, ⑤
高齢者-5	菅 武雄	1. 在宅医療、在宅歯科医療	1) 制度論 2) 在宅医療システム論 3) チーム医療	1)-1: 在宅医療に関連する制度：地域包括ケアシステム 2)-1: 社会的背景 2)-2: 「場」と「環境」 3)-1: 関連する職種	1)-1-①: 地域包括ケアシステムの5つの構成要素を列挙する。 1)-1-②: 在宅医療に求められる4つの機能を列挙する。 2)-1-①: 在宅医療をとりまく社会環境を説明する。 2)-1-②: 死亡数、死亡原因、死ぬ場所を説明する。 2)-2-①: 在宅医療の「場」を説明する。 2)-2-②: 在宅医療の「環境」を説明する。 3)-1-①: 協働する関連職種を列挙する。 3)-1-②: 協働する国家資格の専門職の定義を説明する。	【予習】これまでの系統講義を見直す。 【復習】講義内で指定された「絶対暗記項目」を繰り返し暗記する。 【コアカリ】 B-2-2), B-4-2), E-5-1)-⑥, ⑦
高齢者-6	菅 武雄	1. 摂食嚥下リハビリテーション	1) 評価・検査 2) 各種アプローチ	1)-1: 嚥下障害の症状 1)-2: 嚥下機能のスクリーニング検査 1)-3: 嚥下機能精密検査 2)-1: アプローチ、イ 代償的アプローチ、ウ 環境改善的アプローチ、エ 心理的アプローチ	1)-1-①: 嚥下障害の症状を列挙する。 1)-2-①: 嚥下機能スクリーニング検査を説明する。 1)-3-①: 嚥下機能精密検査を説明する。 2)-1-①: リハビリテーションの各種アプローチを説明する。	【予習】4年次に配布されたプリントを再読する。 【復習】学習目標に挙げられた各項目を実施する。 【コアカリ】 E-5-1)-⑧, ⑨

指導教員: 菅 武雄、赤松那保

参考書: 1) 老年歯科医学 (森戸光彦ら著 医歯薬出版 2022年 第2版)  
2) よくわかる高齢者歯科学 (佐藤裕二ら著 永末書店 2023年 第2版)  
3) 新老年学 (大内 尉義ら著 東京大学出版会 2010年 第3版)

備考: 必要に応じて適宜プリント配布。



# 総合歯科医学5（インプラント）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
インプラント-1	小久保裕司	1 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 2 インプラント義歯による治療	1A 口腔インプラント用材料 2A インプラント義歯の設計	2Aa 上部構造の設計 2Ab 埋入計画の立案	①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。 ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ③口腔インプラントに必要な診査と検査を説明できる。 ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を精読しておくこと。 復習：過去問（Answer2023, Vol. 3 4-3, P. 322-324, Vol. 10 4-6, P. 559-575, 4-8, P. 607-661など）を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2⑤, E-3-4)-(3)①, ②, ③, ④
インプラント-2	小久保裕司	インプラント義歯による治療	臨床操作	1 インプラント埋入手術 2 オッセオインテグレーションの獲得 3 二次手術	①埋入手術方法を説明できる。 ②二次手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を精読しておくこと。 復習：過去問（Answer2023, Vol. 10 4-6, P. 559-575, 4-8, P. 607-661など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑤
インプラント-3	積田 光由	1 インプラント義歯による治療 2 指導と管理	1A 臨床操作 1B 技工操作 2A リコールとメンテナンス	1Aa 印象採得 1Ab プロビジョナルレステーション 1Ac 顎間関係の記録 1Ad 患者情報の記録と伝達 1Ae 装着 1Ba セメント固定式上部構造の製作 1Bb スクリュー固定式上部構造の製作 1Bc インプラントオーバーデンチャーの製作 2Aa インプラント支持療法	①口腔インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 ②口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 ③メンテナンスの重要性を説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を精読しておくこと。 復習：過去問（Answer2023, Vol. 10 4-6, P. 559-575, 4-8, P. 607-661など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑥, ⑦, ⑧

コーディネーターあるいは責任教員：

指導教員： 小久保裕司、積田光由

参考書： よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版

備考：

# 総合歯科医学5（法医歯学）

## 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医-1	勝村聖子	倫理学 歯科法医学と個人識別	医の倫理 患者の権利 死因究明 解剖 死後変化 身元確認	倫理規範 脳死 刑事訴訟法 死体解剖保存法 死因究明制度 死因・身元確認法 災害救助法 災害対策基本法	①医の倫理を説明する。 ②我が国の死因究明制度を説明する。 ③解剖の種類を説明する。 ④死後変化を説明する。 ⑤個人識別の重要性を説明する。 ⑥歯科所見による身元確認を説明する。	3～4年次の講義を振り返り、知識を整理しておくこと。講義終了後は配布物や参考書を使用しながら復習すること。 A-1-1)①～⑥、A-1-2①～④、A-7-1)、B-2-3)①②
法医-2	佐藤慶太	歯科医師と関連職種 の法的義務	歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 看護師 薬剤師 臨床放射線技師	歯科医師法 歯科衛生士法 歯科技工士法 保健師・助産師・看護師 法 薬剤師法 臨床放射線技師法	①歯科医師の法的根拠を説明する。 ②歯科医師の法的任務を説明する。 ③歯科医業と関係職との業務上の関連について説明する。 ④歯科関係職における歯科医行為の禁止について説明する。 ⑤歯科関係職の特性を説明する。	3～4年次の講義を振り返り、知識を整理しておくこと。講義終了後は配布物や参考書を使用しながら復習すること。 B-2-1)①、③～⑦
法医-3	佐藤慶太	医療法 医療事故と医事紛争	医療機関の管理 医療の安全対策 医薬品や医療機器 の取り扱い 医療契約 医療過誤 刑事責任 民事責任	医療機関の開設届け 医療機関の管理者 医療広告 標榜診療科 医療の安全対策 刑法 民法 医療裁判	①医療法を説明する。 ②医療安全体制を説明する。 ③医療事故の発生原因と防止を説明する。 ④医療事故の法的責任を説明する。 ⑤医事紛争の回避・解決法を説明する。	3～4年次の講義を振り返り、知識を整理しておくこと。講義終了後は配布物や参考書を使用しながら復習すること。 A-6-1)①～⑦、A-6-2①～⑥、B-2-1)②

コーディネータあるいは責任教員：

指導教員：佐藤慶太、勝村聖子

参考書：①スタンダード社会歯科学・石井拓男 他・学建書院・2021年・第7版

②臨床のための法医学・澤口彰子 他・朝倉書店・2010年・第6版

備考：必要に応じてプリントを配布し、講義を行う。